

クリーンワンパス

CBS 750A (3)・1500B (1)・2200B (1)

取扱説明書



Model : CBS2200B(1)

株式会社 **サマケ**

安全標示について

ご使用のまえに、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、標示で区分して説明しています。
安全標示の種類と意味は以下の通りです。

安全標示が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

安全標示	意 味
 危 険	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険がある内容を示しています。
 警 告	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注 意	この標示に従わなかった場合、人がけがを負う可能性がある内容を示しています。

その他の標示	意 味
<u>取扱注意</u>	この標示に従わなかった場合、製品の損傷や故障、または原料の損傷が生じる可能性がある内容を示しています。
<u>補 足</u>	使用上役立つ補足説明を示します。

重要なお知らせ



- この取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および保守・点検を行わないでください。
 - この機械の操作および保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
- いつでも調べられるように、この取扱説明書を機械の近くに大切に保管してください。

- 疑問点または不明な箇所があれば、お買い上げの販売店・J Aまたは、巻末の「**緊急時の連絡先**」に問い合わせて回答を得るまで、作業を進めないでください。
- この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、けがを負ったり損害が発生したとしても、販売元・製造元および販売店・J Aは一切その責任を負いません。

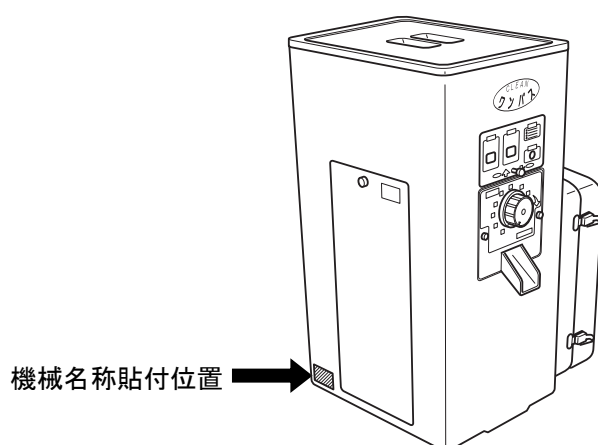
1. 近年、産業機械には、新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。

この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。

そのため、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。

したがって、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。

2. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げの販売店・JA または、巻末の「緊急時の連絡先」にお問い合わせください。
3. この取扱説明書において、万一、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたします。お手数ですが、お買い上げの販売店またはJAまでご連絡ください。
なお、その際は機械名称も合わせてご連絡ください。



保証の限定

本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。万一、正常なご使用状態において故障した場合には、納入日より１年間、または処理量が玄米にて 750A は 20 俵、1500B は 40 俵、2200B は 60 俵までのいずれかに該当する場合は、無料で修理いたします。

＜保証事項＞

1. 取扱説明書、本体標示ラベルに従った使用により機械が保証期間内に故障した場合には、保証書をご持参ご提示の上お買い上げの販売店またはＪＡに修理をご依頼ください。
ただし、保証書のご提示なき場合、消耗部品およびその交換費用は保証期間内でも有償となります。
2. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 無料修理期間中でも、**次の場合は有料修理になります。**
 - (1) 誤った使用方法、あるいは取扱上の不注意によって生じた損傷および故障。
 - (2) 不当な修理や改造によって生じた損傷および故障。
 - (3) 火災、公害、塩害、異常電圧などの外部要因、地震、雷、風水害などの天変地異によって生じた損傷および故障。
 - (4) 一度据え付けた後の移動、落下により生じた損傷および故障。
 - (5) 弊社純正部品以外の使用、お買い上げの販売店・ＪＡまたはその指定サービス工場以外での修理による故障。
 - (6) 保証書の紛失、保証書の記入事項または字句を勝手に訂正された場合。
 - (7) 木切れや石などの異物が機械内に入って生じた損傷および故障。

＜免責事項＞

1. 上記（１）から（７）の場合、保証期間内外を問わず、これにより生じる直接および間接損害、その他一切の損害については、何ら責任はないものといたします。
2. お客様が本製品を別のお客様にお譲りになる場合は、必ず、お買い求めいただいた販売店またはＪＡ、もしくは新しく製品をお求めになる販売店またはＪＡにご相談ください。
お客様が別のお客様に直接お譲りになりますと、製品の状態（修理履歴、移設作業の状態）、付属品（取扱説明書等）の有無を把握できないため、製品の安全性や性能について保証できなくなります。

もくじ

	ページ
安全標示について	i
重要なお知らせ	ii
保証の限定	iv
ご使用のまえに	
安全上の注意事項	1
安全作業のしおり	3
標示ラベルについて	5
各部のなまえ	6
表示部・操作部のなまえとはたらき	8
運転前の準備	
精米作業前の準備	10
運転のしかた	
機械の運転操作	14
点検・調整	
精米作業後の点検と作業	21
困ったとき	
困ったときの対処のしかた	28
その他	
消耗部品	39
仕様	41
寸法図	42
保証とアフターサービス	43
緊急時の連絡先	巻末

ご使用のまえに

運転前の準備

運転のしかた

点検・調整

困ったとき

その他

安全上の注意事項

1. 一般順守事項

＜安全運転に関する事項＞

- (1) 梱包を開梱した後は、機械をおおっているビニール袋で子供が遊ばないように、手の届かない場所に置くか処分してください
- (2) 主電源を入れた後は、電源ボックス内部などの通電部分には、絶対に触れないでください。
- (3) 長い髪は束ね、作業に適した服装および安全靴で作業してください。
- (4) 機械の上に工具などの物を置いて、機械を作動させないでください。
- (5) 機械を起動する場合は、機械の周囲に人がいないのを確認の上、起動してください。
- (6) 運転中は機械の可動部に触れないでください。
- (7) 各操作部は、ていねいに操作してください。
乱暴に操作すると、誤動作および故障の原因になります。
- (8) 運転中は特に指示する箇所以外、機械の点検および調整を行わないでください。もし、機械の点検および調整の必要がある場合は、主電源を切り、機械が完全に停止している状態で行ってください。
- (9) 漏電による感電や火災防止のため、必ず接地（アース）をしてください。接地（アース）工事、確認については、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
- (10) 漏電事故防止のため、元電源に必ず漏電ブレーカを設置してください。設置については、電気工事店に依頼してください。
- (11) 落雷のおそれがあるときは機械保護のため、運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
- (12) 機械には水を掛けしないでください。
水が掛かると電源回路がショートし、機械が故障または損傷するおそれがあります。
- (13) 機械の周囲には、作業に関係のない人を近づけないよう注意してください。特に子供を遊ばせないように注意してください。

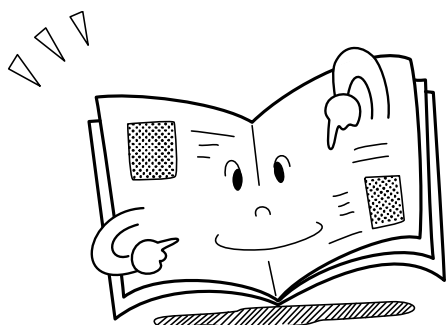
2. 特別順守事項

この機械の取り扱いについては前述の一般順守事項のほかに、この機械特有の特別順守事項があります。一般順守事項とともに、以下の特別順守事項にも従ってください。

＜安全運転に関する注意事項＞

- (1) カバー類はすべて取り付けて運転してください。また運転中はカバー類を取り外さないでください。回転体に挟まれる危険があります。
- (2) 機械の運転中は、異常音・異常振動などがないか運転状態を監視してください。
- (3) 水平でしっかりとした場所に据え付けてください。
水平でないと振動の発生や性能の低下の原因になります。
- (4) 各部の掃除、点検や異常・故障時の処置をする場合は、電源プラグを抜き、機械が完全に停止している状態で行ってください。

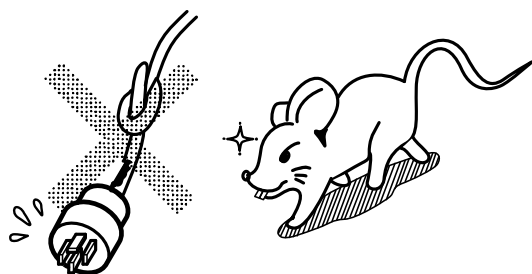
安全作業のしおり



- (1) 取扱説明書をよく読み、理解して作業を行ってください。また、いつでも取り出せる場所に保管してください。

警 告

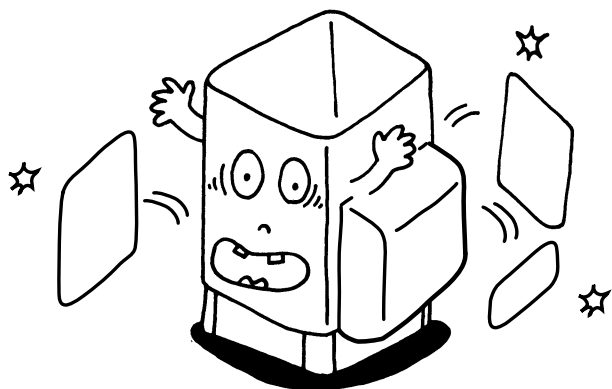
- 取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および点検を行わないでください。



- (2) 電源コードに異常がないか確認してください。

警 告

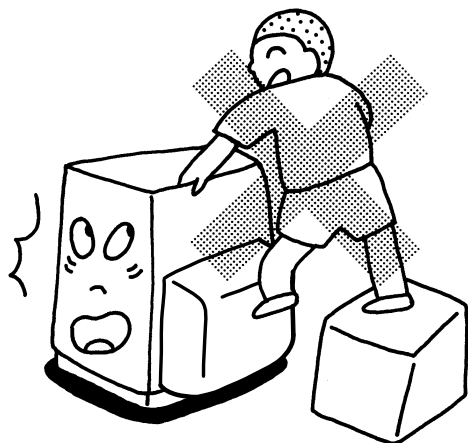
- 被覆のはがれがあると、漏電、ショートの原因になります。



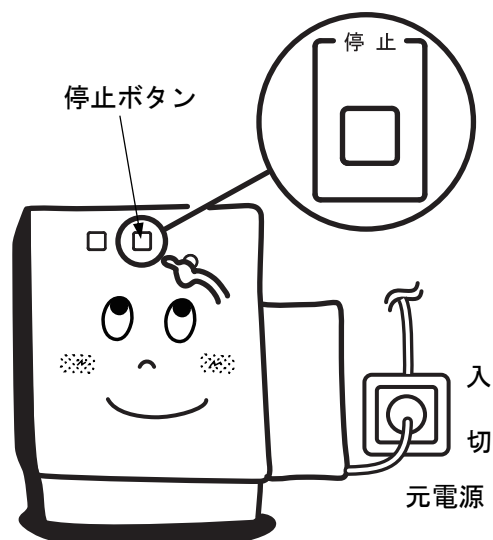
- (3) 安全カバー類は作業中取り外さないでください。

警 告

- ベルトやプーリに挟まれる危険があります。



- (4) 機械の周囲に子供や作業に関係のない人がいないことを確認してください。



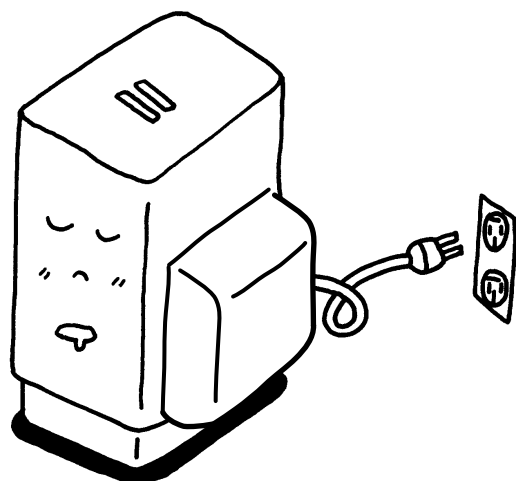
- (5) 緊急時の動力遮断装置の動作を確認してください。



- (6) 異常を感じたら直ちに作業をやめ、点検をしてください。

取扱注意

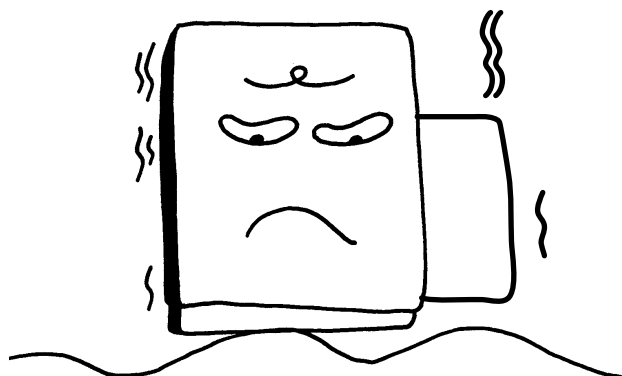
- 過負荷状態で作業しないでください。



- (7) 掃除・点検、調整は、必ず機械を止めて行ってください。

警告

- 掃除・点検・調整時には、電源プラグは必ず抜いてください。



- (8) 水平でしっかりとした場所に据え付けてください。

取扱注意

- 水平でないと、振動の発生や能力の低下の原因になります。

標示ラベルについて

この機械には、特に注意を要する箇所に標示ラベルが貼り付けてあります。

これらの正確な位置および危険防止の内容について、十分に時間をかけて理解してください。

1. 標示ラベルの貼付位置

標示ラベルの貼付位置と標示ラベルの内容については、図 1 を参照してください。

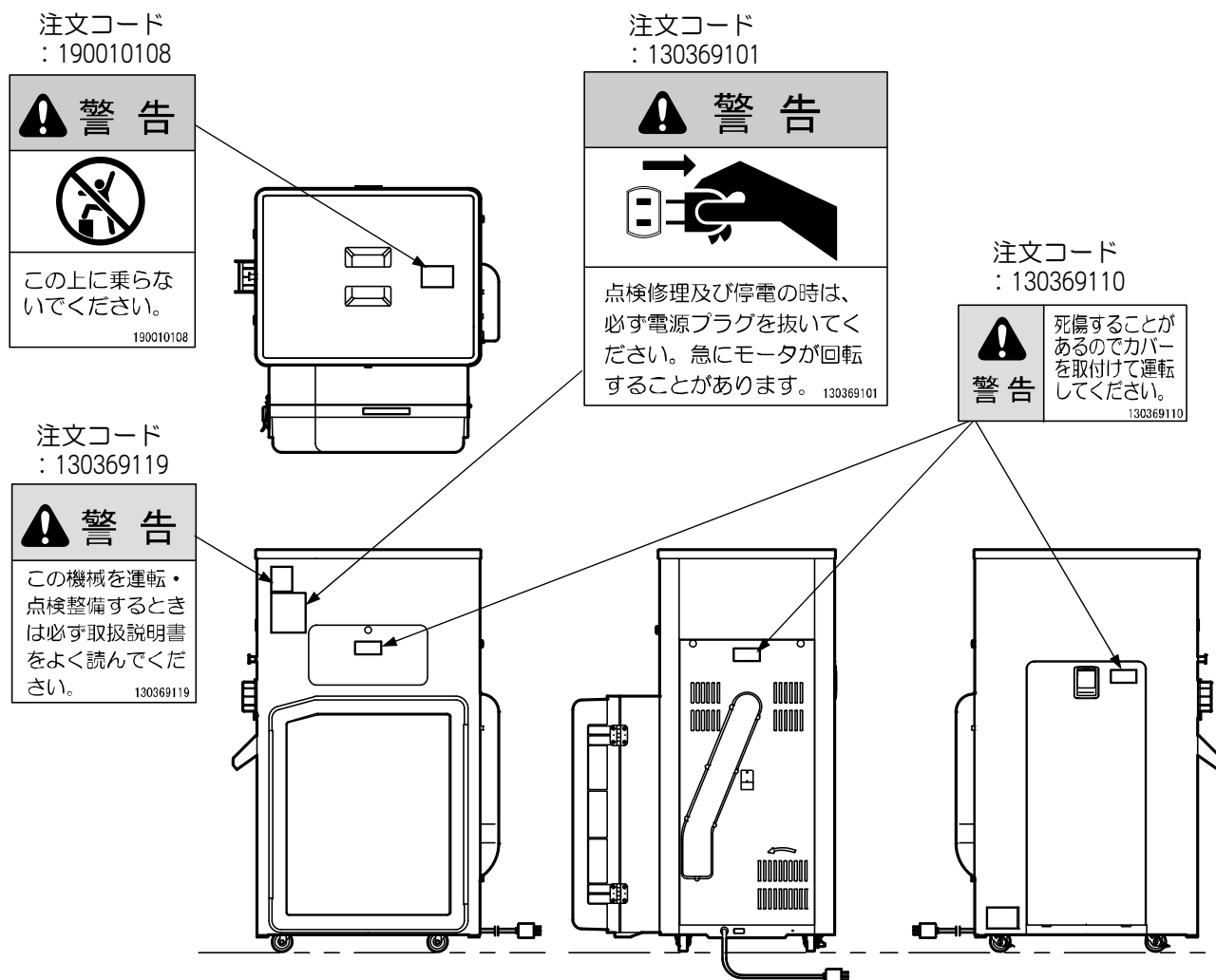


図 1 標示ラベル貼付位置

2. 標示ラベルの取扱い

- 標示ラベルがすべて読めるか確認してください。
文字やイラストが見えない場合、標示ラベルの汚れを落とすか交換してください。
- 標示ラベルの汚れ落としには布、水、洗剤を使用してください。
有機溶剤やガソリンなどを使用しないでください。
- 標示ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、標示ラベルを購入して貼り替えてください。
問い合わせ先は、巻末の「緊急時の連絡先」を参照してください。

各部のなまえ

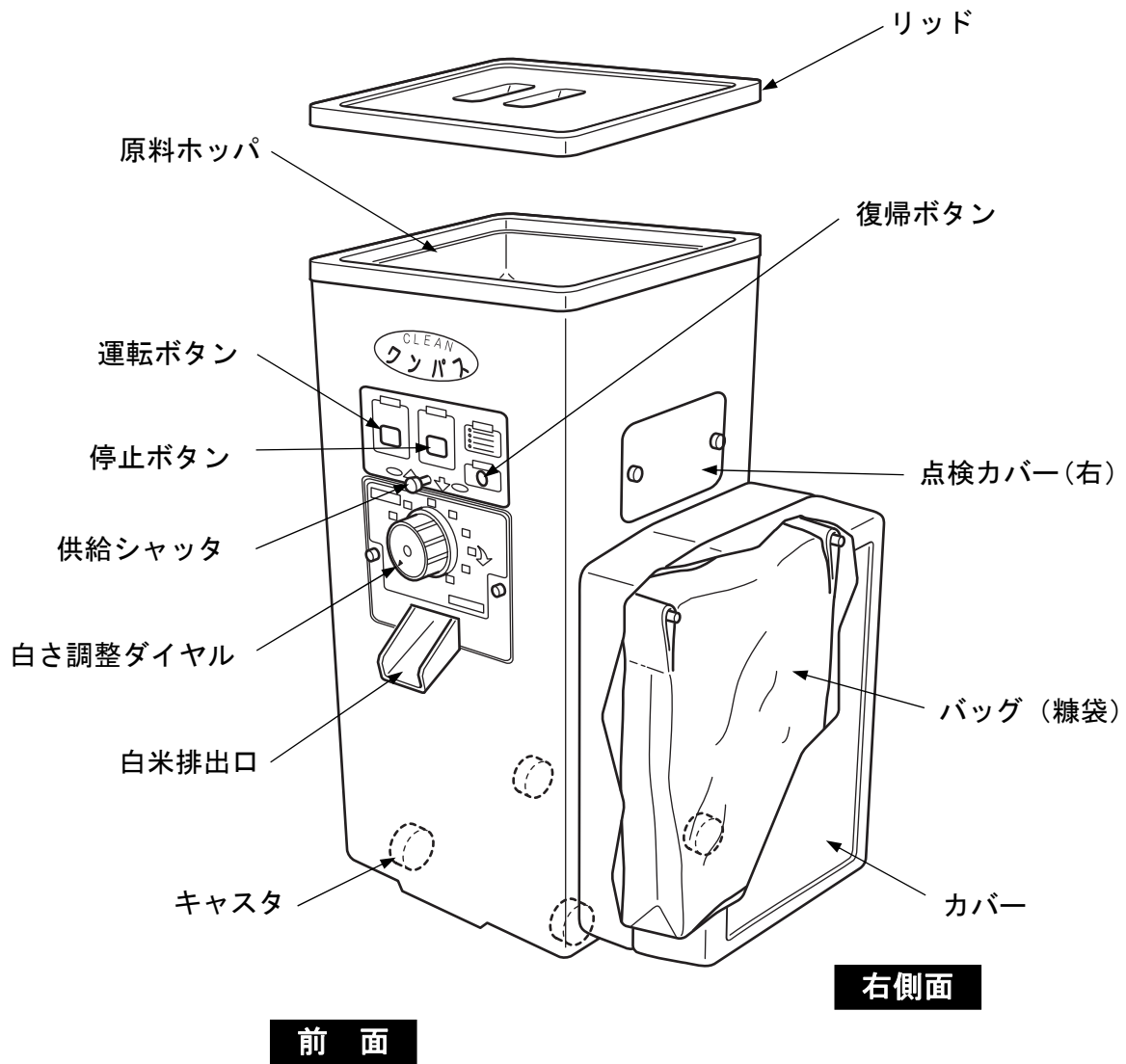


図 2 機械全体図 (1)

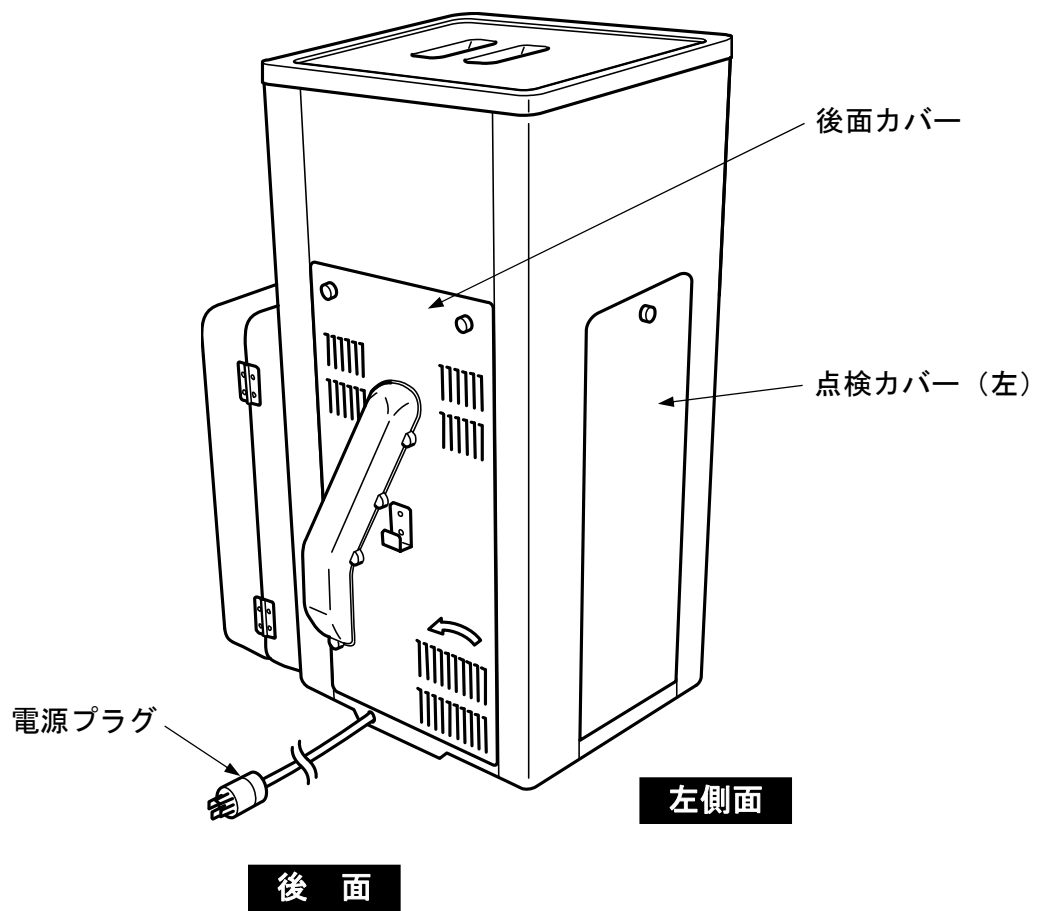


図 3 機械全体図 (2)

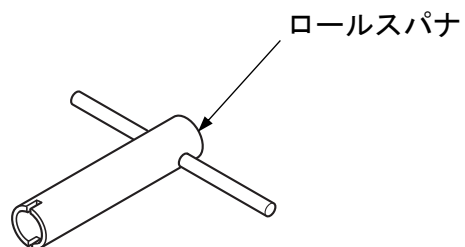


図 4 付属部品

表示部・操作部のなまえとはたらき

警告

- 本書をよく読み、理解するまでは機械を作動させないでください。

- 操作については、14ページ「機械の運転操作」を参照してください。

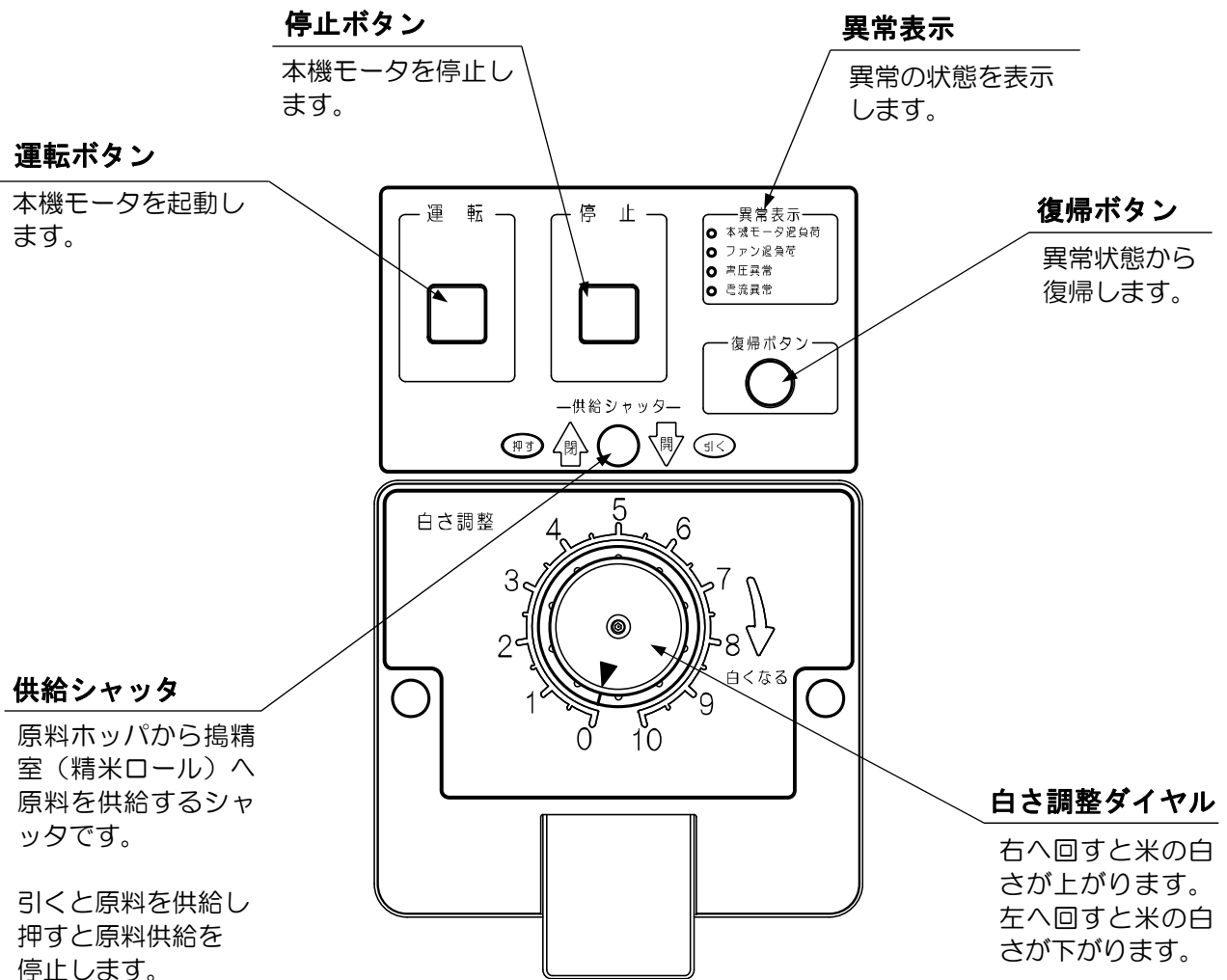
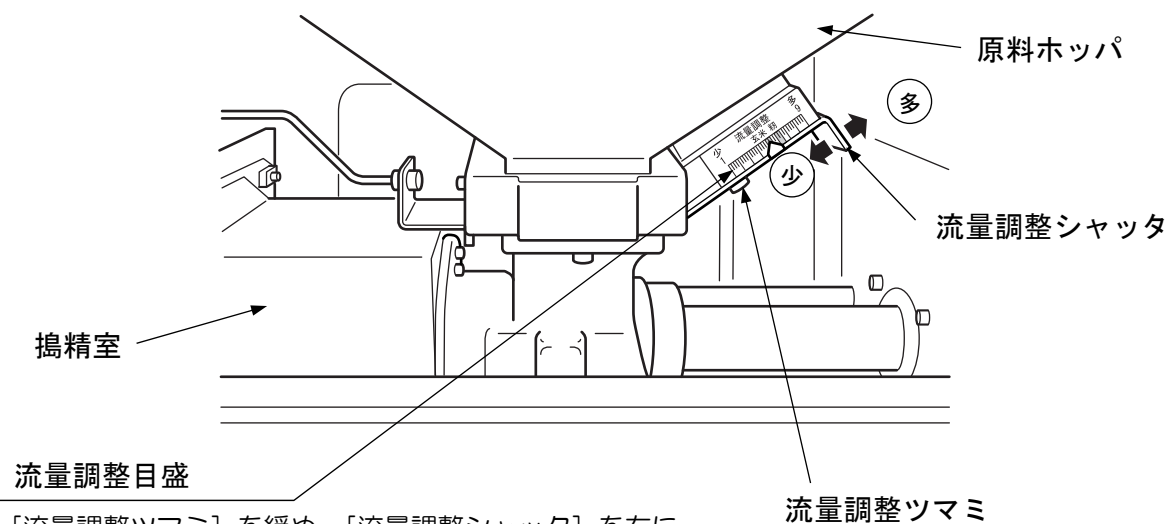


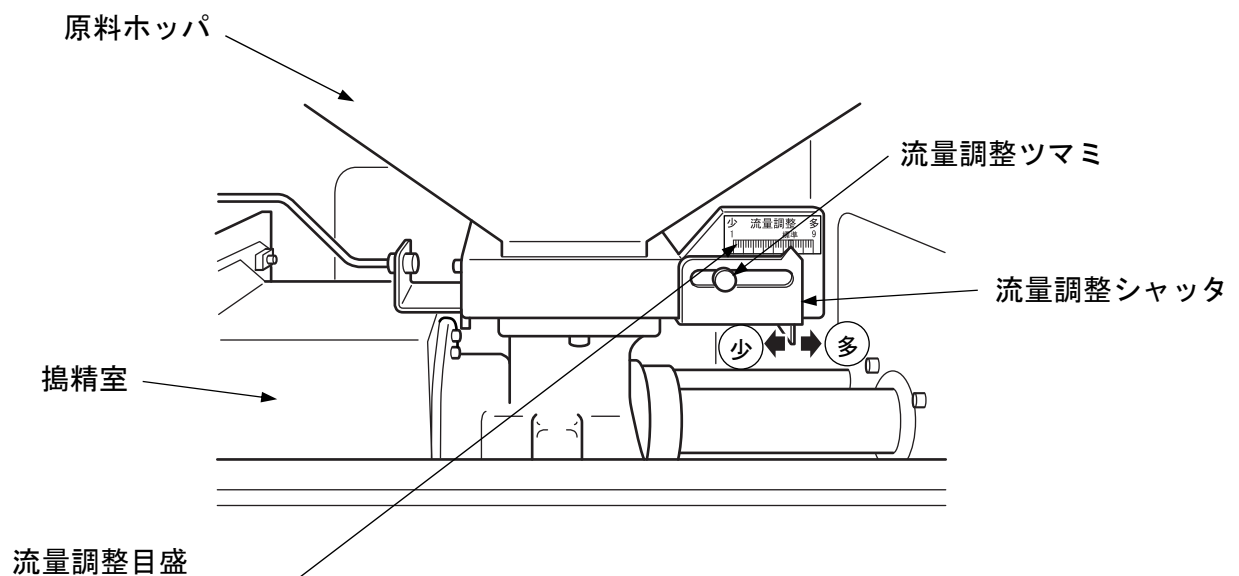
図 5 機械操作箇所



〔流量調整ツマミ〕を緩め、〔流量調整シャッタ〕を右に動かすと流量が多くなり、左に動かすと流量が少なくなります。調整後は〔流量調整ツマミ〕を締めて、〔流量調整シャッタ〕を固定してください。
 (出荷時は玄米の標準位置(赤色)に合わせてあります)

流量は原料(品種・水分・新古米など)および金網・精米ロールの摩耗により変わります。
 もし流量調整が必要な場合は、目盛を一度に多く変えず、1目盛ずつ動かしてください。

図 6 機械操作箇所(点検カバー(右)を外した状態) (CBS1500B(1)・2200B(1))



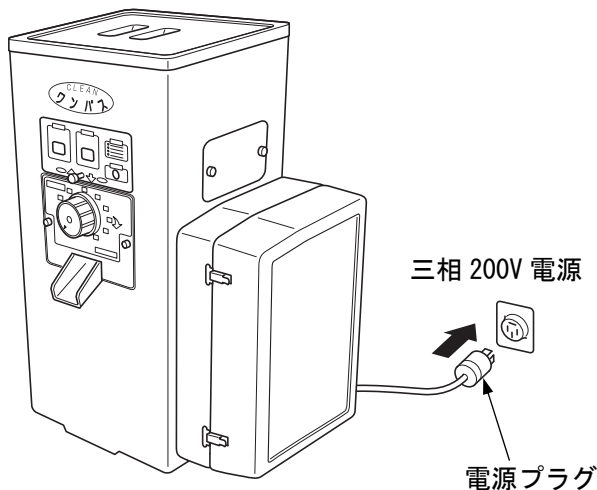
〔流量調整ツマミ〕を緩め、〔流量調整シャッタ〕を右に動かすと流量が多くなり、左に動かすと流量が少なくなります。調整後は〔流量調整ツマミ〕を締めて、〔流量調整シャッタ〕を固定してください。
 (出荷時は標準位置(赤色)に合わせてあります)

流量は原料(品種・水分・新古米など)および金網・精米ロールの摩耗により変わります。
 もし流量調整が必要な場合は、目盛を一度に多く変えず、1目盛ずつ動かしてください。

図 7 機械操作箇所(点検カバー(右)を外した状態) (CBS750A(3))

精米作業前の準備

1. 使用電源について

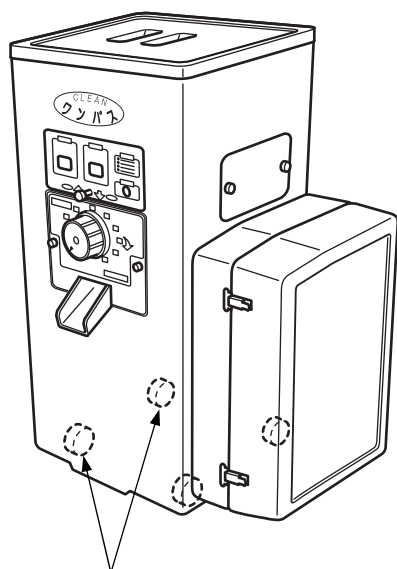


- 必ず三相 AC200V の電源を使用してください。
- 電源コードの長さは約 2m です。
- 1 つのコンセントから他の消費電力の大きな機械と一緒に使用しないで、単独で使用してください。
- コードリール（延長コード）は絶対に使用せず、精米機の電源プラグを直接 AC200V 電源に接続してください。

取扱注意

- 電源電圧（運転中）が 180V 以下になると運転不能になる場合があります。
- 電源側（コンセント、ブレーカなど）が接地（アース）されていない場合は、別途、電気工事が必要です。
お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

2. 機械の移動



ストッパ付キャスタ
(左側面 2 カ所のみ)



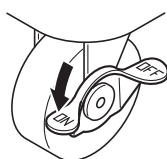
1) キャスタのストッパを外します。

(OFF を押す)

- 左側面 2 カ所にストッパ付キャスタがあります。

2) 機械を移動します。

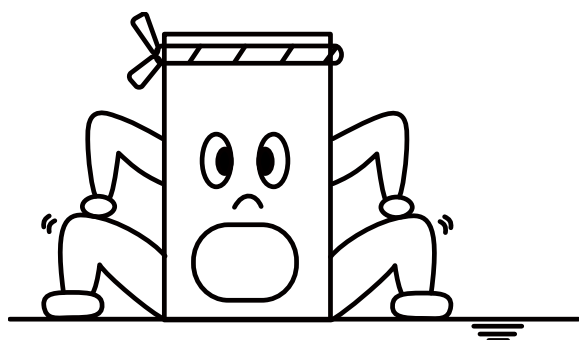
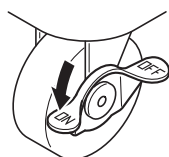
- 機械を押して、作業場所へ移動します。



3) キャスタのストッパをセットします。

(ON を押す)

3. 機械の据付



1) 機械を水平に据え付けます。

- キャスタのストッパをセットします。

(ON を押す)

2) 機械のガタつきを確認します。

- 機械の据え付けは、平らでしっかりとした場所にしてください。
- 機械がガタついている場合は、ライナー等を敷き調整してください。

取扱注意

- 水平でないと、振動の発生や能力の低下の原因になります。

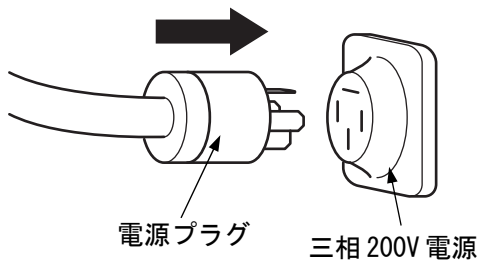
4. 使用環境温度について

より良い品質の精米をするために、環境温度は 5～30℃の範囲ですることをお勧めします。

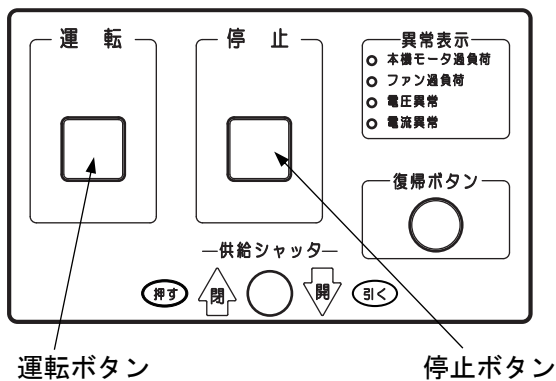
取扱注意

- 環境温度が 5℃以下になると白さが足りなくなったり、排出口付近に糠が付着しやすくなります。
- 環境温度が 30℃以上になると白米温度が高くなったり、碎米が増えたりします。

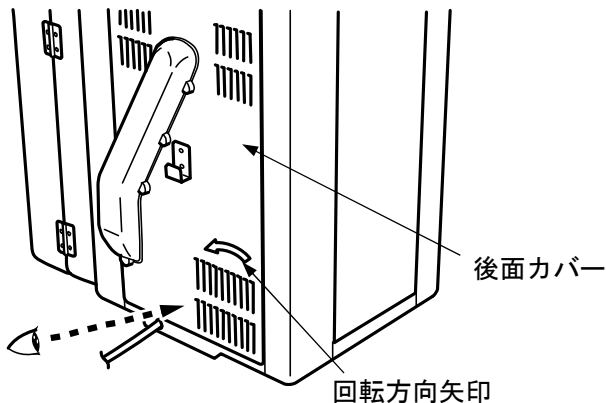
5. モータの回転方向の確認



- 1) 電源プラグを三相 AC200V の電源に差し込みます。



- 2) 「運転ボタン」を押し、モータを起動します。

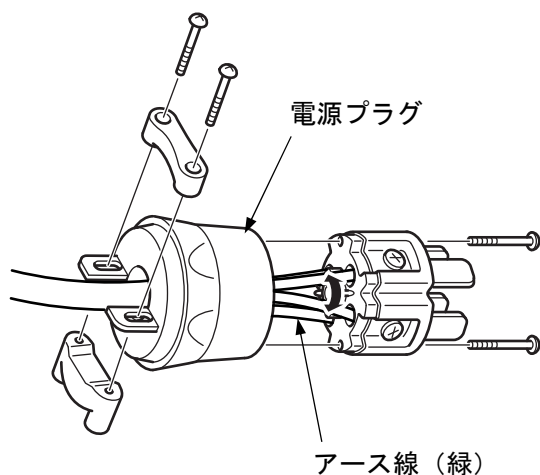


- 3) 後面カバーから、中で回っているプーリを見ながら「停止ボタン」を押し、モータを停止します。

4) プーリが停止する寸前に、カバーに付いている回転方向の矢印と同じ方向に回っているか確認します。

5) 反対に回転していれば電源プラグをコンセントから抜き、電源プラグに接続されている赤・白・黒の3本のうちどれか2本を入れ替えます。

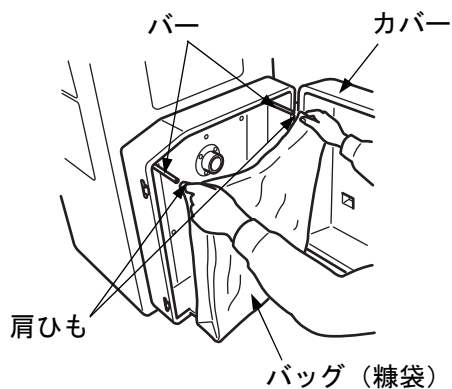
6) 入替え後、再度回転方向を確認します。



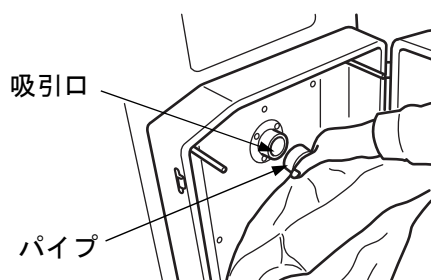
補 足

- 試運転時等、機械運転当初はVベルトからガタガタと音がすることがあります。これはVベルトが馴染んでいないためであり、数分間運転すると直ります。

6. バッグ（糠袋）の取付



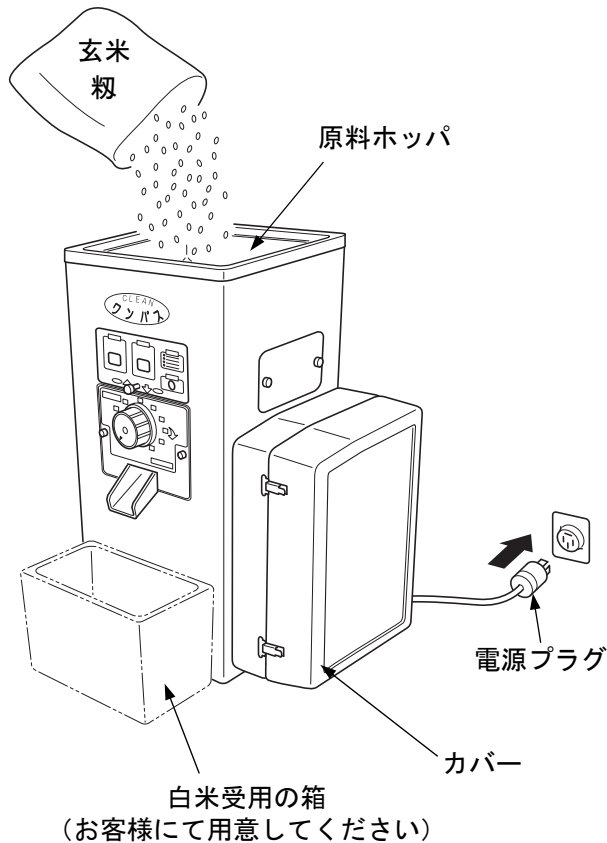
1) バッグ（糠袋）の肩ひも（2カ所）がバーに掛かっているか確認します。



2) バッグ（糠袋）のパイプ部分が吸引口に確実に差し込まれているか確認します。

機械の運転操作

1. 精米作業の方法



- 1) [供給シャッタ] が閉じていることを確認します。
- 2) 電源プラグを AC200V 電源に差し込み、原料ホッパへ玄米または粳を張り込みます。

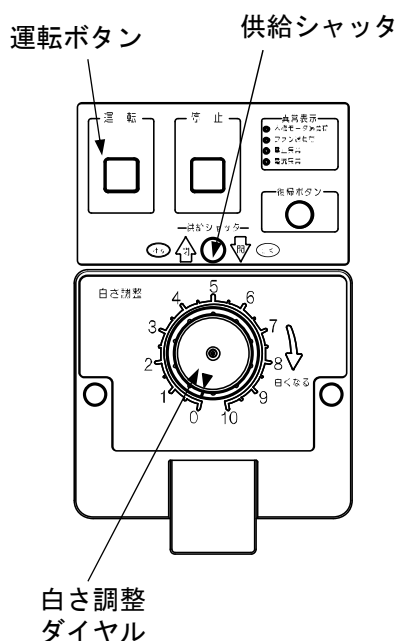
取扱注意

- 小石・異物は入れないでください。
- 張り込む玄米は 30 kg 以下にしてください。(粳は 20 kg 以下)

- 3) バッグ(糠袋)をセットし、カバーを完全に閉じます。白米受用の箱などを準備して白米出口にセットします。

取扱注意

- カバーが完全に閉じていないと金網から糠を吸引できなくなり、機械が詰まります。詰まった場合は、金網の掃除をしてください。(21ページ「(1)金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください)



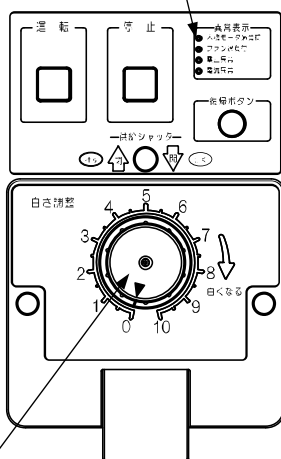
- 4) [白さ調整ダイヤル] を [0] の位置にセットします。
- 5) [運転ボタン] を押し、モータを起動します。
- 6) [供給シャッタ] を引き、原料を供給します。

取扱注意

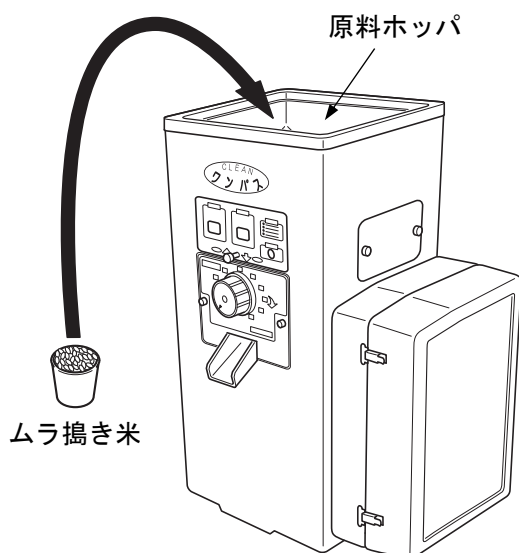
- 玄米 60 kg 以上の精米作業を行う場合は、バッグ(糠袋)の糠が一杯に溜まらないように、また白米受用の箱が白米で一杯にならないように注意してください。

運転のしかた

「本機モータ過負荷」表示



白さ調整ダイヤル



ムラ搗き米

7) お好みの白さになるように「白さ調整ダイヤル」を回します。

- 右へ回すと米の白さが上がります。
左へ回すと米の白さが下がります。
- 右に回しすぎると「本機モータ過負荷」表示が点滅を始めます。この場合は、直ちに左に戻してください。
そのまま運転を続けると「本機モータ過負荷」表示が点灯したままになり、機械が停止します。

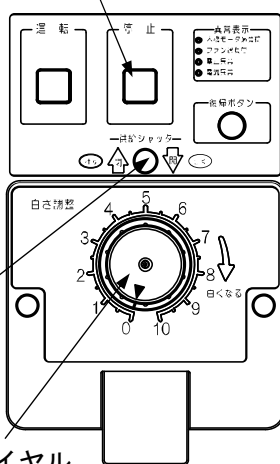
取扱注意

- 運転始めはムラ搗き米が排出されます。ムラ搗き米は原料ホッパへ戻してください。
- 高水分米（16～17%）を精米する場合は 2 回搗きをするか、玄米を乾燥してください。
- 保冷库などに保管された玄米を精米する場合は、保管場所から出し、日陰で 1 日程度放置した後、作業してください。
- 胴割米の混入が多い場合等は、2 回搗きをしてください。
- 虫害米・虫の混入が多い玄米は入れないでください。
- 粳を精米する場合は、原料の状態によっては、2 回搗きをすることにより白米の品質を高めてください。

2. 精米作業の一時中断方法

(1) 通常一時中断の場合

停止ボタン



供給シャッター

白さ調整ダイヤル

- 1) 「供給シャッター」を押し、原料の供給を止めます。
- 2) 「白さ調整ダイヤル」を [0] の位置まで戻します。
- 3) 「停止ボタン」を押し、モータを停止します。

(2) 緊急一時中断の場合

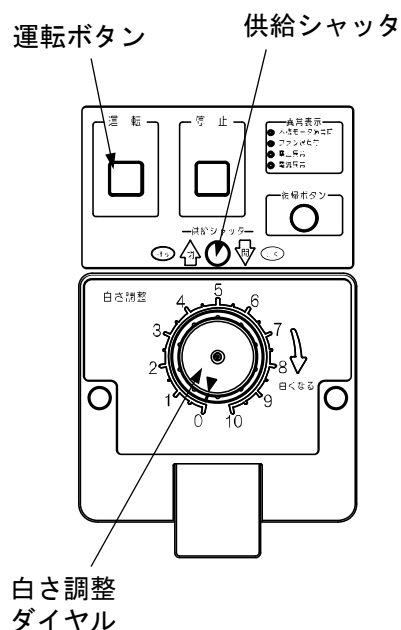
- 1) 「停止ボタン」を押すか、電源プラグを抜きます。



- 緊急時は直ちに「停止ボタン」を押すか、電源プラグを抜いて機械を停止してください。

3. 一時中断からの精米作業の再開方法

(1) 通常一時中断から再開する場合

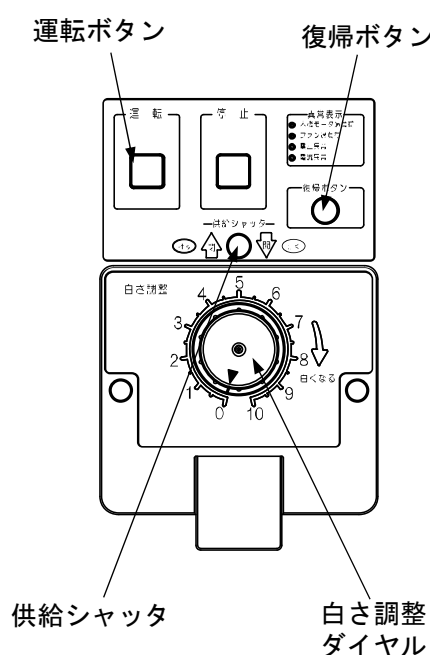


- 1) 「白さ調整ダイヤル」が [0] の位置にあるか確認します。
- 2) 「運転ボタン」を押すと機械が始動します。
- 3) 「供給シャッタ」を引き、原料を供給します。
- 4) お好みの白さになるように「白さ調整ダイヤル」を回します。
 - 右へ回すと米の白さが上がります。
 - 左へ回すと米の白さが下がります。

取扱注意

- 運転始めはムラ搗き米が排出されます。ムラ搗き米は原料ホッパへ戻してください。

(2) 緊急一時中断から再開する場合



- 1) [白さ調整ダイヤル] は必ず [0] の位置にします。
- 2) [供給シャッター] を押して原料の供給を止めます。
- 3) [運転ボタン] を押すとモータが起動します。([異常表示ランプ] が点灯しているときは、[復帰ボタン] を押して、異常を解除します)
- 4) [供給シャッター] を引き、原料を供給します。
- 5) お好みの白さになるように [白さ調整ダイヤル] を回します。
 - 右へ回すと米の白さが上がります。
 - 左へ回すと米の白さが下がります。

取扱注意

- 運転始めはムラ搗き米が排出されます。ムラ搗き米は原料ホッパへ戻してください。
- 緊急停止時は、再起動のとき始動しない場合があります。

- 再起動しないときは、金網と精米ロールを取り外し、掃除してください。

(21ページ「(1) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください)



警告

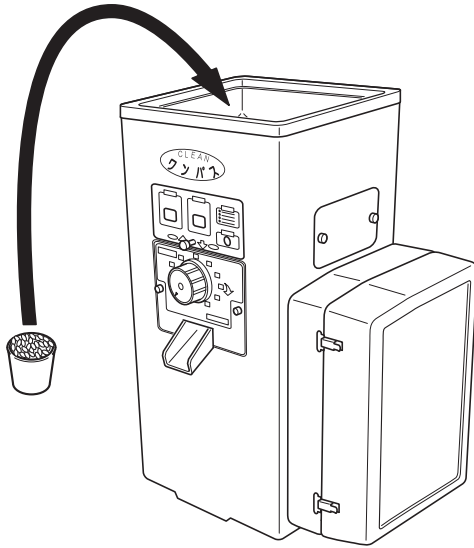
精米作業中の注意事項

- カバーは確実に閉じてください。
- 運転中は、必ず点検カバーおよび後面カバーを装着してください。

取扱注意

- バッグ（糠袋）に溜まった糠は早めに除去してください。
(バッグ（糠袋）の容量は、玄米で 60kg、粳で 20kg 分です)

4. 精米作業の終了方法



1) 原料ホッパの米がなくなる前に搗き上がっている白米をカップ2杯程度（約300g）入れます。

- 白米を入れると同じ白さに仕上がります。
- 金網内に少量の米が残ります。

取扱注意

- 長期保管をする場合は金網を外して掃除してください。
（21ページ「(1) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください）

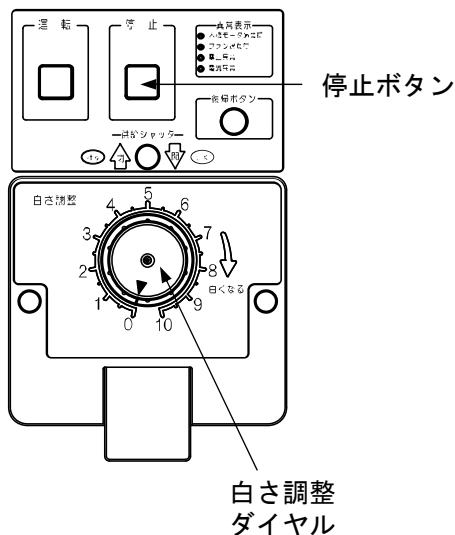
2) 白米の排出が終わったら、[白さ調整ダイヤル] を [0] の位置に戻します。

3) [供給シャッター] を押して、シャッターを閉めます。

4) [停止ボタン] を押します。

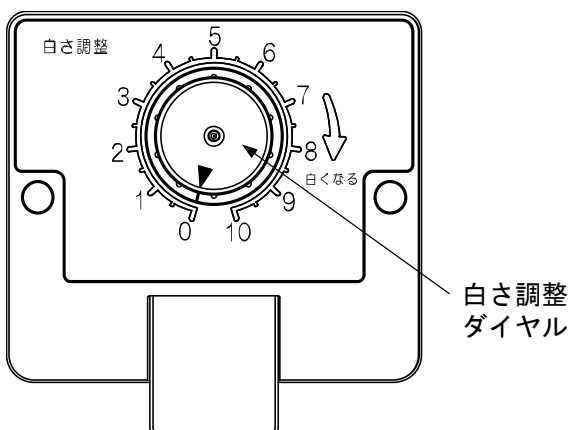
5) バッグ（糠袋）の糠を取り出します。
（25ページ「(4) バッグ（糠袋）の取り出し方」を参照してください）

6) バッグ（糠袋）は掃除後、元通りに取り付けます。



運転のしかた

5. もち米の精米作業方法

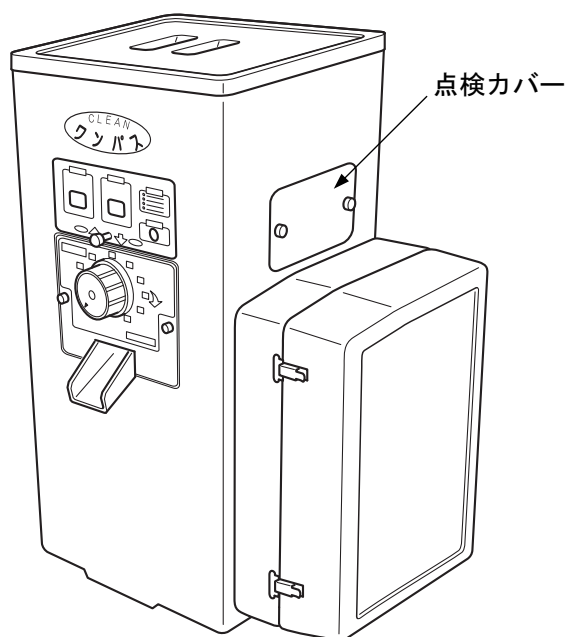


- 1回で白さが上がらない場合は、2回搗きを行ってください。

取扱注意

- 一度に白さを上げると過負荷停止し、機械が詰まることがあります。

6. 粳の精米作業方法



1) 本体右側の点検カバーを開けます。

2) [流量調整ツマミ] を緩め、[流量調整シャッタ] を玄米（赤色）の範囲から粳（青色）の範囲にスライドします。

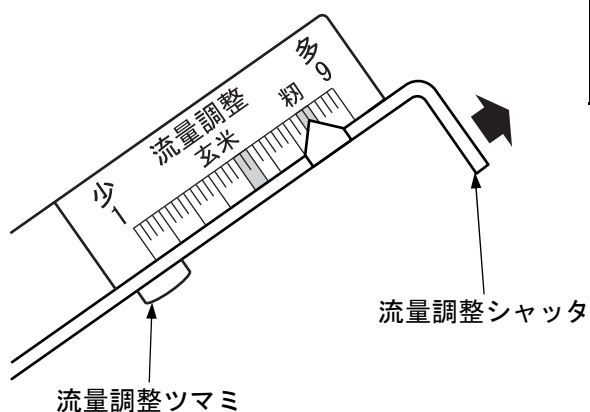
（1500B・2200B のみ）

なお、工場出荷時は玄米（赤色）の範囲に設定されています。

3) 精米は、14ページ「1. 精米作業の方法」の要領で行います。

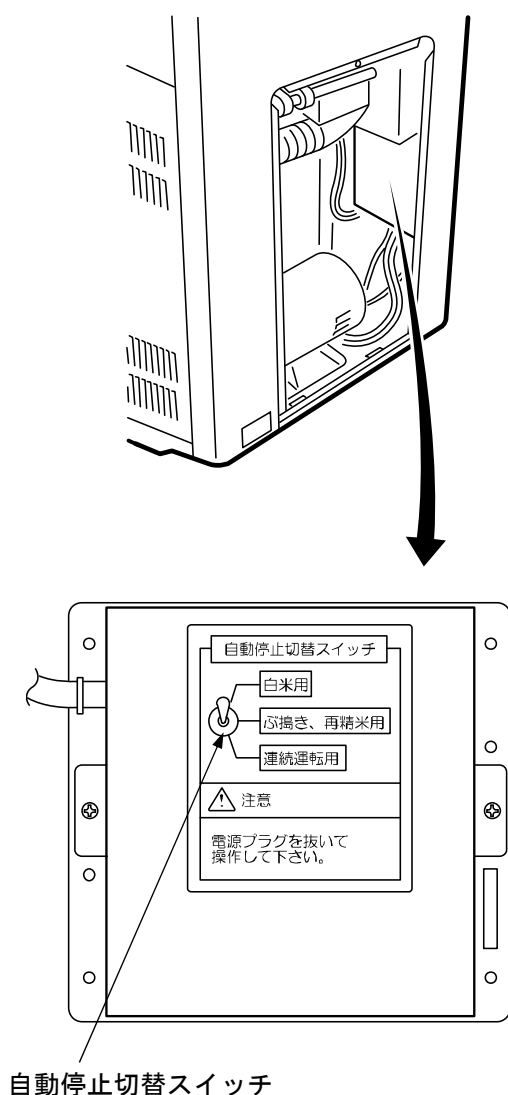
取扱注意

- 白米中に粳殻の混入が多い場合は 2 回 搗きをしてください。



（図は CBS1500B の場合を示す）

7. 自動停止機能の切り替えについて



- 1) 自動停止する機能を「自動停止切替スイッチ」で切り替えることが可能です。

白米用

通常精米はこの位置で使用してください。
(標準の自動停止設定位置です)

ぶ搗き・再精米用

ぶ搗きや 2 回搗きをする場合に設定します。必要に応じて使用してください。

連続運転用

自動停止をさせたくない場合に設定してください。自動停止しないので、機械を止めるときは、「停止ボタン」を押してください。

運
転
の
し
か
た

- 2) ぶ搗き米および再精米、枝梗やワラゴミの多い粳を行う際は、「自動停止切替スイッチ」を「ぶ搗き・再精米用」に切り替えます。

取扱注意

- 切り替えは、電源プラグをコンセントから抜いて操作してください。
- 負荷電流が低い場合（精米しやすい原料を使用するときや流量が少ないとき）、精米作業中に停止することがあります。このときは、「ぶ搗き・再精米用」に切り替えてください。

- 3) 工場出荷時は、「白米用」で出荷しています。

精米作業後の点検と作業

1. 各部の掃除

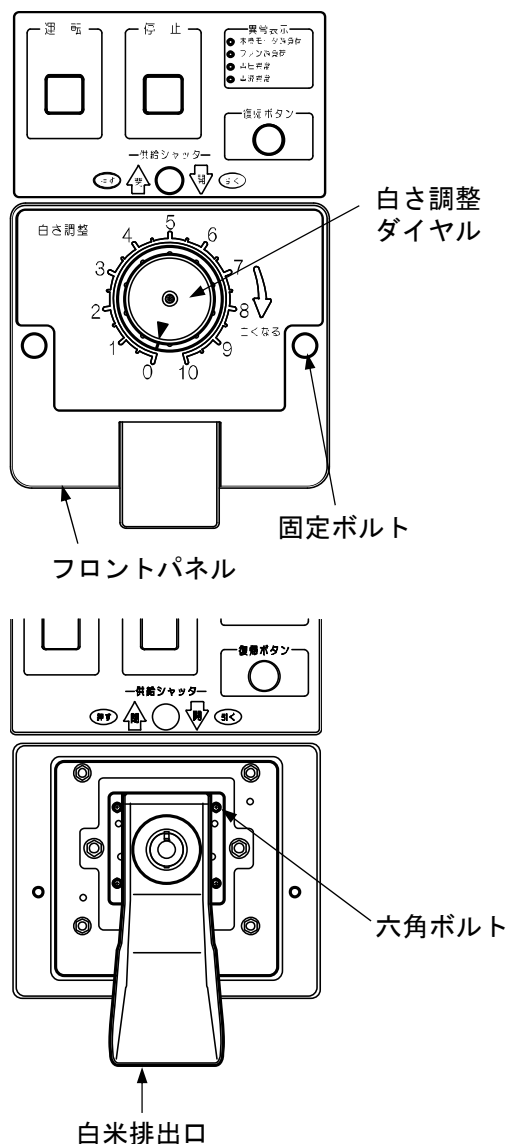


● 各部の点検と掃除をするときは、電源プラグを抜いて行ってください。

取扱注意

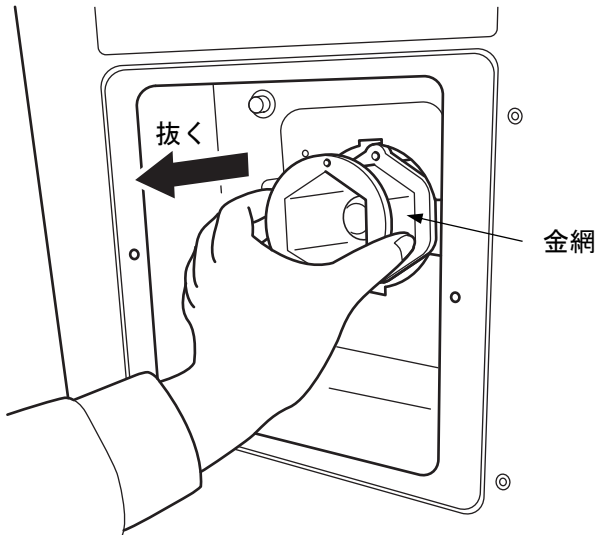
- 作業終了後は、必ず機内・機外の掃除をしてください。
- もち米などを精米する前後も、必ず機内・機外の掃除をしてください。

(1) 金網・精米ロールの掃除・交換



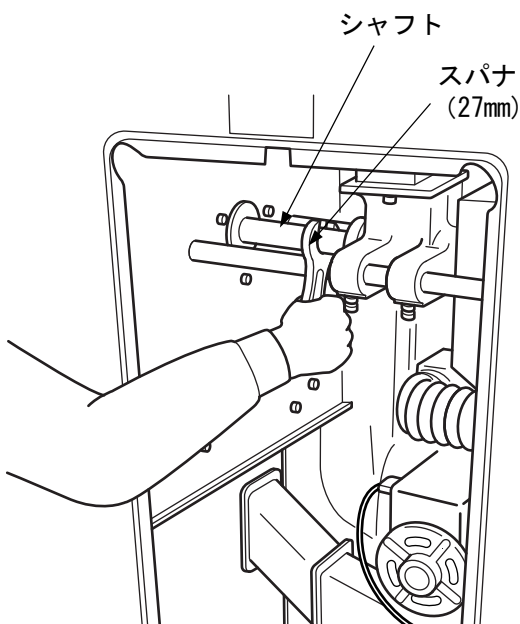
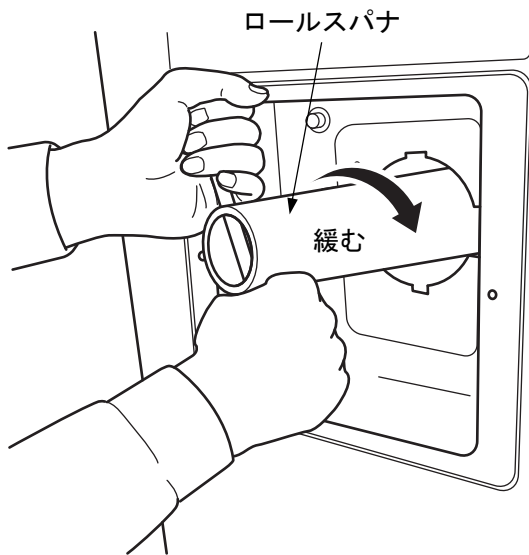
- 1) 「白さ調整ダイヤル」を「0」の位置に戻します。
- 2) 固定ボルト（2本）を緩めて、フロントパネルを取り外します。
- 3) 六角ボルト（4本）を外して、白米排出口を取り外します。

4) 金網を正面側へ抜きます。



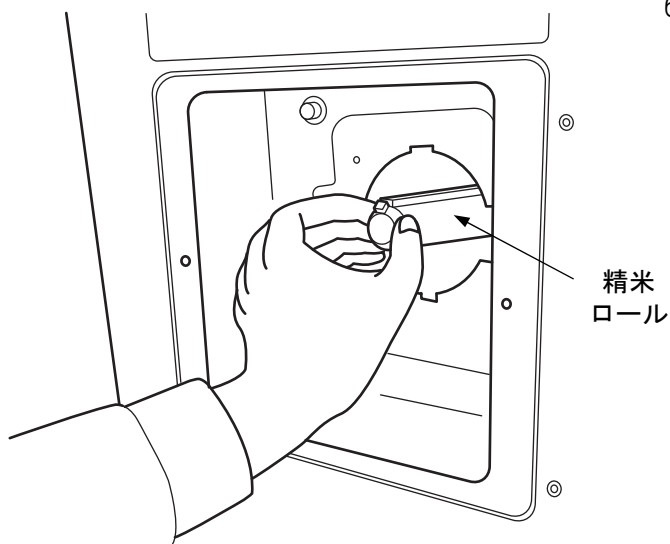
5) 付属のロールスパナを使用し、矢印方向にハンマなどでたたいて、精米ロールのネジを緩めます。

- 精米ロールのネジは左ネジなので時計方向に回して緩めます。

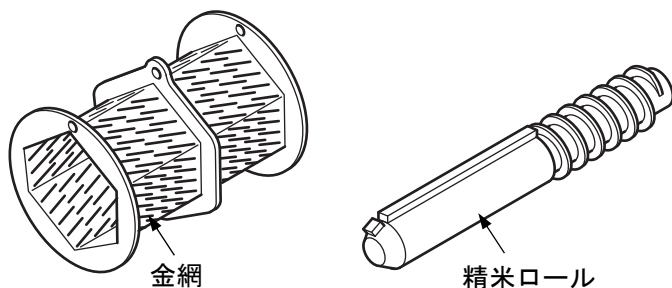


取扱注意

- 万一精米ロールが緩まない場合は 27mm のスパナをシャフトの切目に入れシャフトを固定して、精米ロールを緩めてください。



- 6) 精米ロールが緩んだら、手で時計方向に回しながら抜きます。



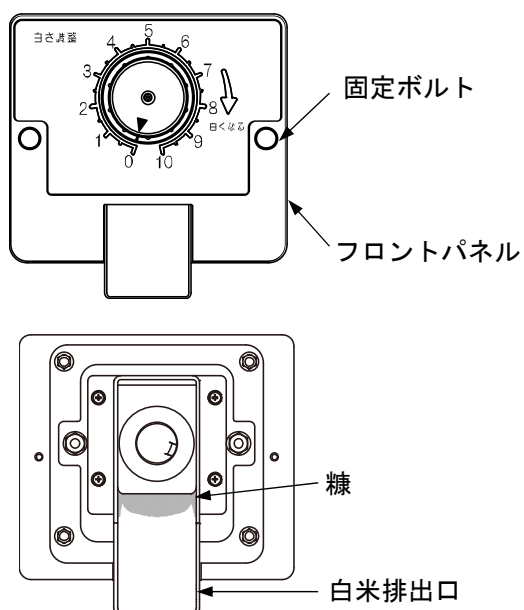
- 7) 金網、精米ロールをブラシなどで掃除します。

- 8) 金網、精米ロールを組み付ける場合は、分解の逆の順序で行います。

取扱注意

- 金網を組み付ける場合は、しっかりと奥まではめ込んでください。

(2) 白米排出口の掃除



- 1) 固定ボルト（2 本）を緩めて、フロントパネルを取り外します。

- 2) 白米排出口の表面に付着している糠を柔らかい布などで拭き取ります。

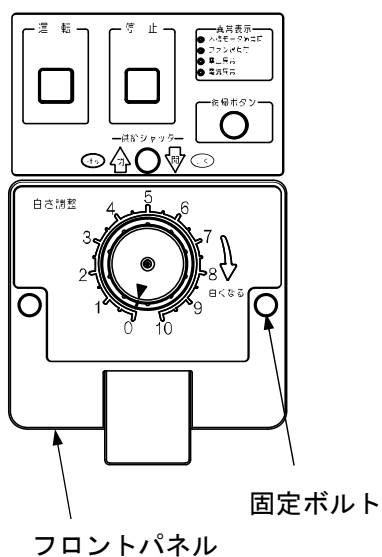
- 糠が取れにくい場合は、布を水で湿らせて拭いてください。

- 3) フロントパネルを元通りに組付けます。

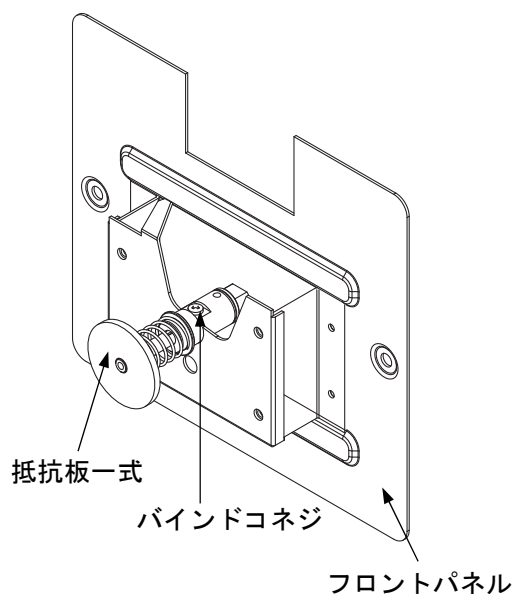
(3) 抵抗板の掃除・交換



● 各部の点検と掃除をするときは、電源プラグを抜いて行ってください。

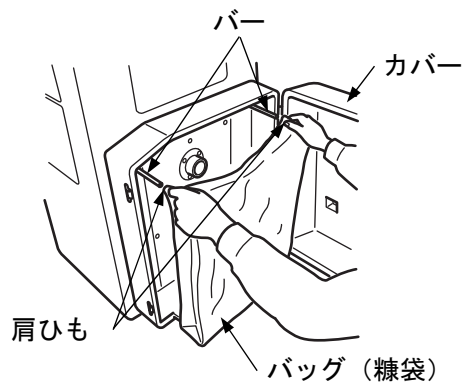


- 1) 残留米を排出します。
- 2) 固定ボルト（2 本）を緩めて、フロントパネルを取り外します。



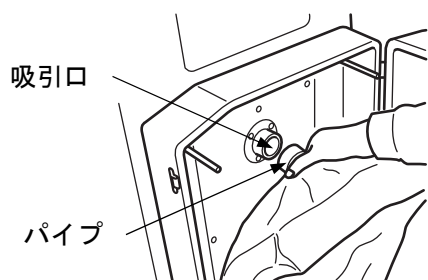
- 3) 抵抗板一式をブラシなどで掃除します。
- 4) 交換する場合は、抵抗板一式を取り付けているバインドコネジを外して、抵抗板一式を取り外します。
- 5) 抵抗板一式を組み付ける場合は、分解の逆の順序で行います。

(4) バッグ（糠袋）の取り出し方

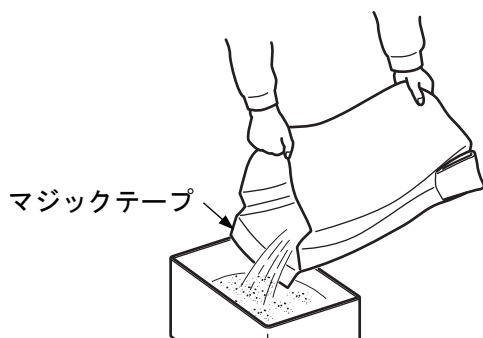


1) カバーを開けます。

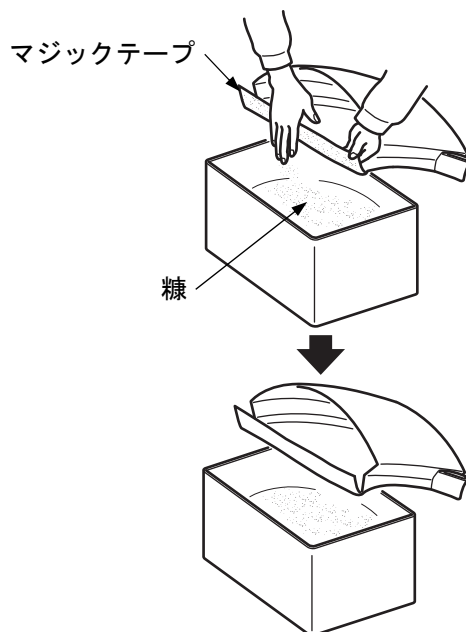
2) バッグ（糠袋）の肩ひも（2 カ所）をバーから外します。



3) 吸引口に差し込んでいるパイプ部分を外し、カバーから取り出します。



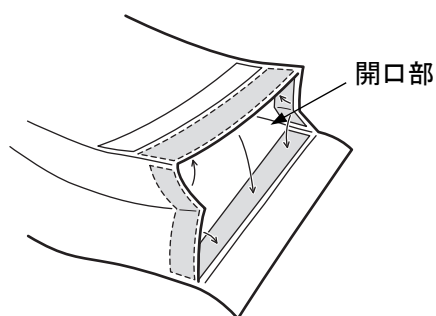
4) バッグ（糠袋）のマジックテープ部分を開け、糠を取り出します



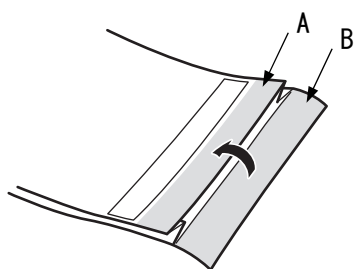
取扱注意

- マジックテープ部分に付着した糠は取り除いてください。付着していると糠モレの原因になります。

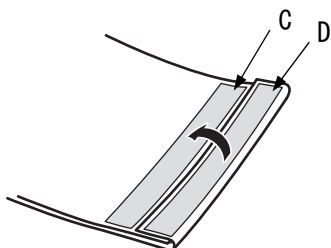
①



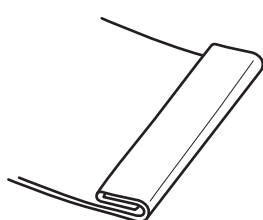
②



③



④



5) バッグ（糠袋）の開口部を閉じます。

① 開口部（内側）の周囲のマジックテープを合わせて開口部を閉じます。

② A部とB部を合わせます。

（この部分にはマジックテープはありません）

③ C部とD部のマジックテープを合わせます。

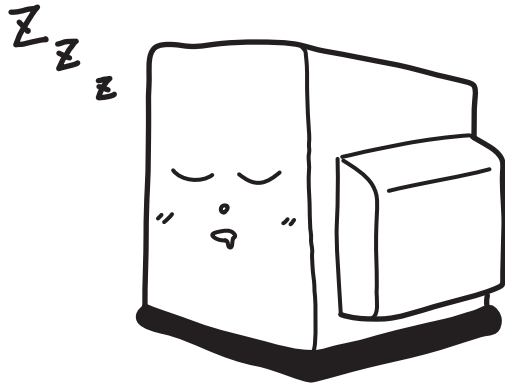
④ 図のように閉じます。

取扱注意

- マジックテープの閉じ方は左図を参照して、確実に閉じるようにしてください。糠モレの原因になります。

6) バッグ（糠袋）を組み付ける場合は、取り外しの逆の順序で行います。

2. 機械の保管



1) 機内、機外の掃除を行います。

(21ページ「1. 各部の掃除」を参照してください)

2) 機械を保管場所へ移動します。

(11ページ「2. 機械の移動」を参照してください)

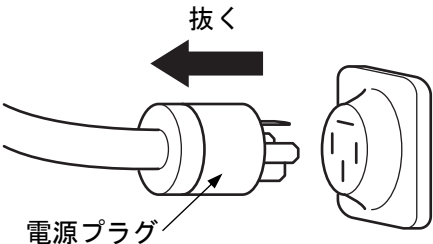
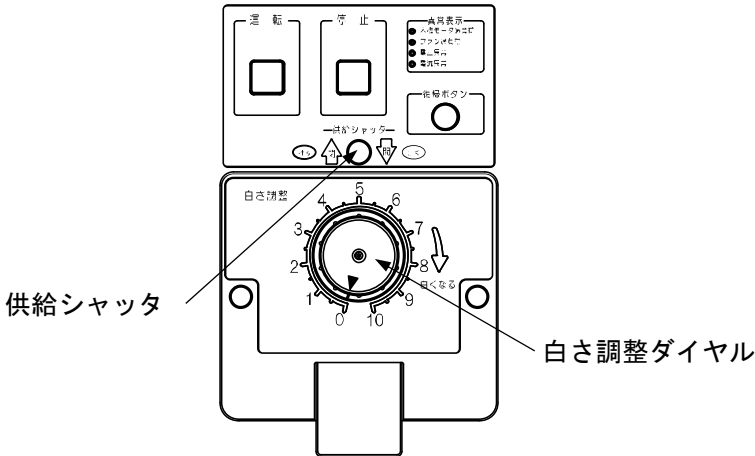
- 機械の保管場所は、雨などが掛からず乾燥した平らな所にしてください。
- 機械を保管するときは、電源プラグを抜いてください。
- 機械内にネズミが侵入しないように注意してください。

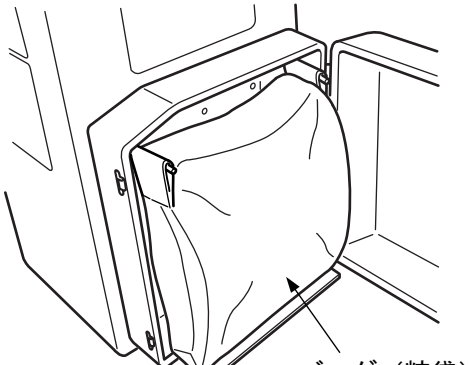
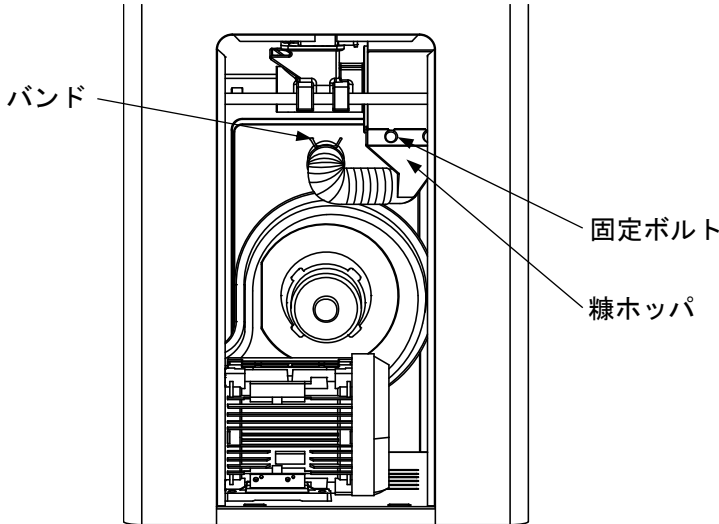
困ったときの対処のしかた

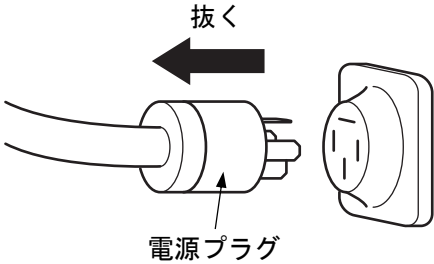
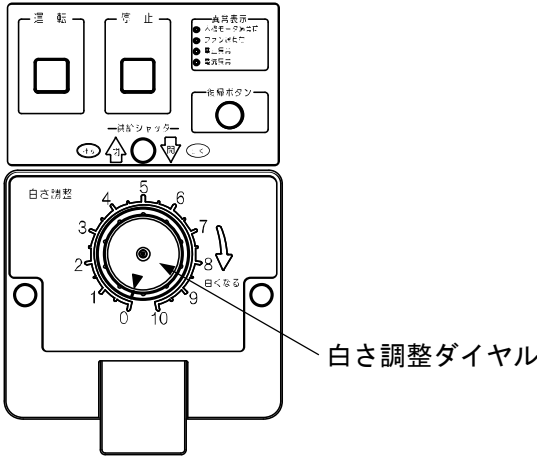
警告

- 各部の点検をするときは、必ず電源プラグを抜いてください。
- 調整後は、作業安全のため、必ずカバーを元通りに取り付けてください。
- 本書の指示に従ったにもかかわらず、異常・故障が直らない場合はお買い上げの販売店またはJ Aに連絡してください。

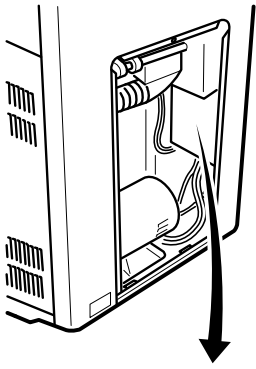
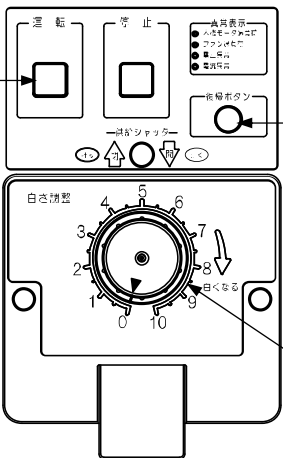
(1) 本機モータ過負荷異常が起きる

原因	処置方法
1) バッグ（糠袋）が糠で一杯になっている	(a) 電源プラグを抜いてください。  (b) [白さ調整ダイヤル] を [0] の位置まで戻してください。 (c) [供給シャッター] を押して原料の供給を止めてください。 

原因	処置方法
	(d) バッグ（糠袋）の糠を取り除いてください。 取扱注意 ● バッグ（糠袋）に溜まった糠は早めに取り除いてください。（25ページ「(4) バッグ（糠袋）の取り出し方」を参照してください） <u>バッグ（糠袋）の容量は、玄米で60kg、粳で20kg分です。</u>  バッグ（糠袋） (e) 糠ホッパから吸引口までの糠を取り除いてください。 （固定ボルト4本とバンドを緩めて、糠ホッパと糠ダクトを機外へ取り出して掃除してください）  バンド 固定ボルト 糠ホッパ (f) 電源プラグを差して〔復帰ボタン〕を押し、異常表示が消えているのを確認してください。 (g) 〔運転ボタン〕を押し、再起動してください。 （14ページ「1. 精米作業の方法」を参照してください）

原因	処置方法
2) 負荷のかけすぎ または、原料の水分 が高いか、未熟米が 多い	(a) 電源プラグを抜いてください。  (b) [白さ調整ダイヤル] を [0] の位置まで戻してください。  (c) 電源プラグを差して、異常表示が消えているのを確認してください。 (d) [運転ボタン] を押し、再起動してください。 取扱注意 ● 再起動しないときは、金網と精米ロールを取り外し、掃除してください。(21ページ「(1) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください) (e) 白さを上げないで2回搗きを行ってください。

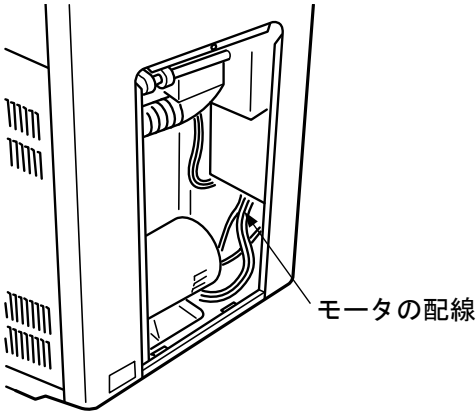
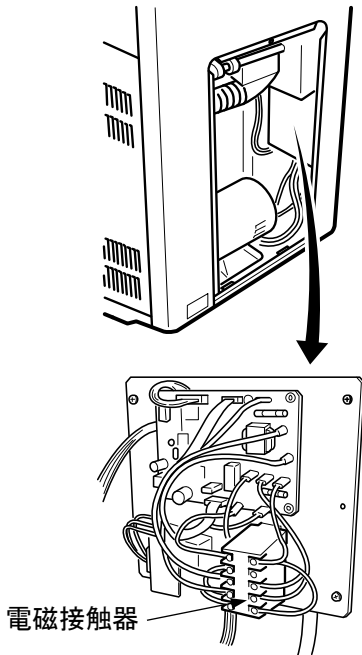
(2) ファン過負荷が起きる

原因	処置方法
1) ヒューズが切れている	(a) 電源プラグを抜いてください。 (b) コントロール基板に付いているヒューズ (FU2) を交換してください。(250V 1A)  コントロール基板 FU ヒューズ (c) ファンに異常がないか点検してください。 (d) 電源プラグを差して〔復帰ボタン〕を押し、異常表示が消えているのを確認してください。 (e) 〔運転ボタン〕を押し、再起動してください。  運転ボタン 復帰ボタン 白さ調整ダイヤル

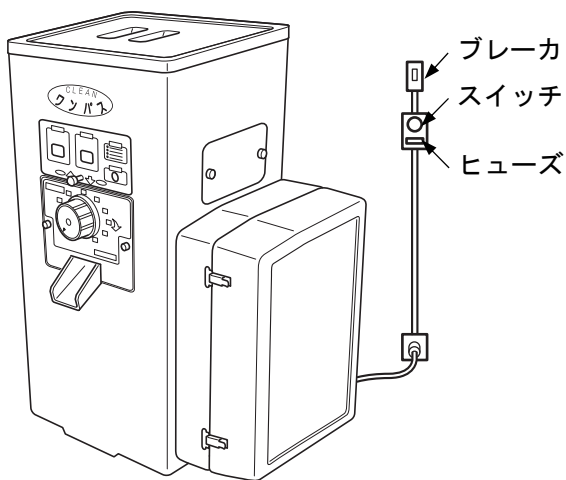
(3) 電圧異常が起きる

原因	処置方法
1) 電源電圧が低すぎる	取扱注意 ● 延長コードの使用やタコ足配線は絶対にしないでください。電源プラグは直接 AC200V 電源へ接続してください。 タコ足配線 三相 200V 電源 延長コード 電源プラグ (a) 電源プラグを抜いてください。 (b) 延長コードやタコ足配線等、電圧低下の原因となるものを除外してください。 (c) [白さ調整ダイヤル] を [0] の位置まで戻してください。 (d) 電源プラグを差して [復帰ボタン] を押し、異常表示が消えているのを確認してください。 (e) [運転ボタン] を押し、再起動してください。 運転ボタン 復帰ボタン 白さ調整ダイヤル

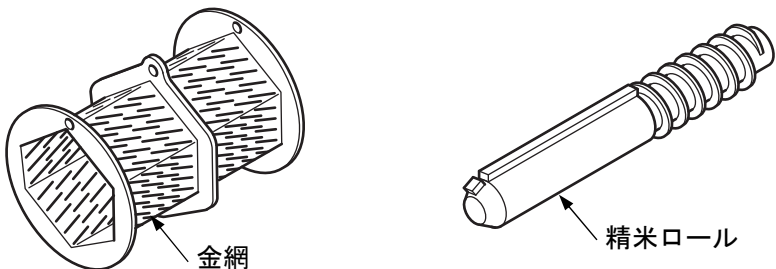
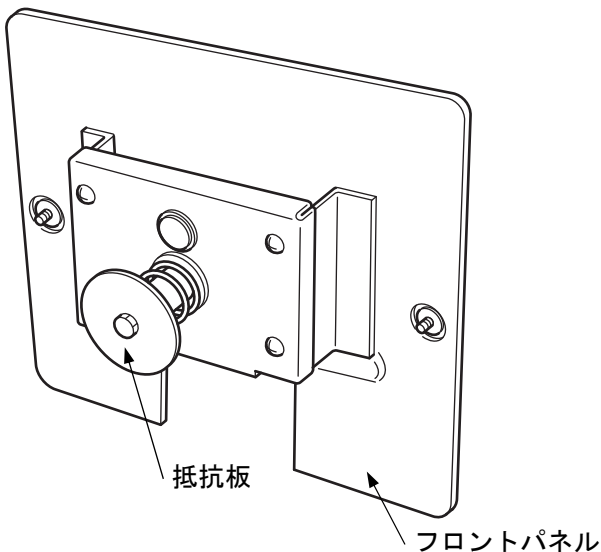
(4) 電流異常が起きる

原因	処置方法
電流異常 LED の点灯 1) モータへの配線が断線して電流が流れていない	(a) 電源プラグを抜いてください。 (b) モータの配線が断線していないかを点検してください。  モータの配線
電流異常 LED の点滅 1) モータ停止中にもかかわらず規定値以上の電流値を検知し、電流異常 LED が点滅（電磁接触器が接点溶着している）	(a) 電源プラグを抜いてください。 (b) 電磁接触器を交換してください。  電磁接触器 (c) [白さ調整ダイヤル] を [0] の位置まで戻してください。 (d) 電源プラグを差して [復帰ボタン] を押し、異常表示が消えているのを確認してください。 (e) [運転ボタン] を押し、再起動してください。

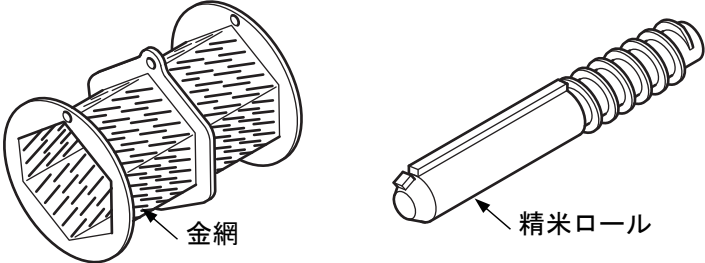
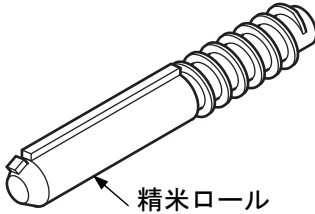
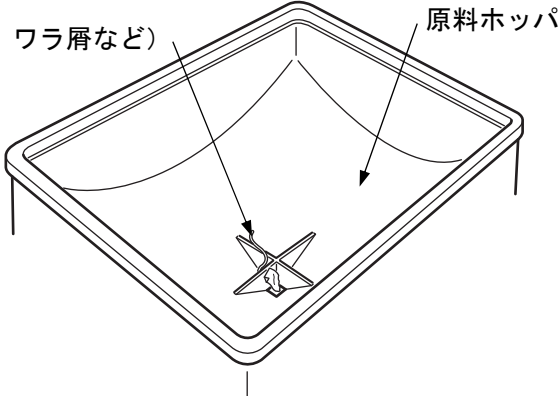
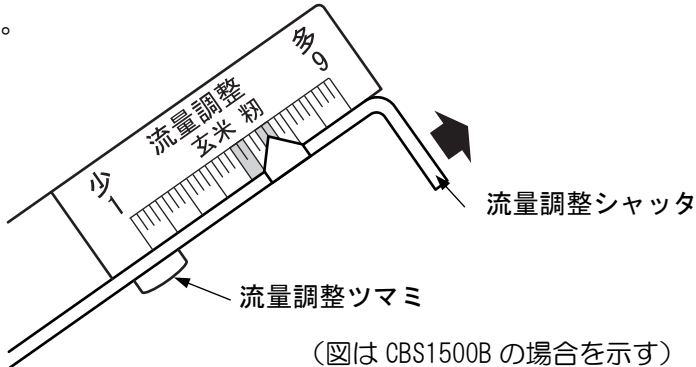
(5) [運転ボタン] を押してもモータが回らない

原因	処 置 方 法
1) 電源がきていない	(a) 屋内のヒューズが切れていないか、またはブレーカが働いていないか点検してください。 (b) 原因がわからないときは、お買い上げの販売店・J Aまたは電気工事店にご相談ください。 (c) 停電の場合は復旧するまで待ってください。  ブレーカ スイッチ ヒューズ

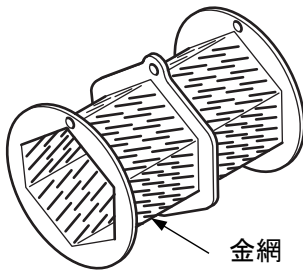
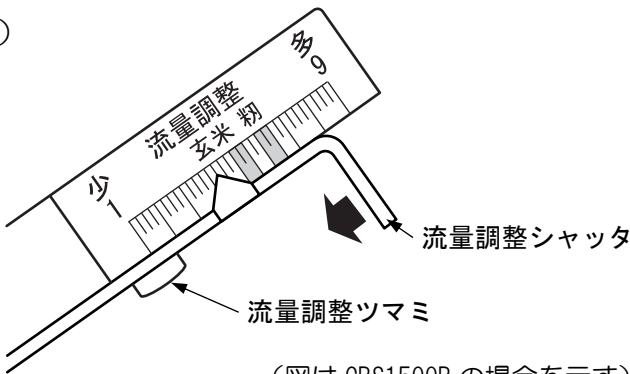
(6) 白さが上がらない

原因	処置方法
1) 金網、または、精米ロールが摩耗している	(a) 金網、または精米ロールを交換してください。 (21ページ「(1) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください)  金網 精米ロール
2) 抵抗板が摩耗している	(a) 抵抗板一式を交換してください。 (24ページ「(3) 抵抗板の掃除・交換」を参照してください)  抵抗板 フロントパネル

(7) 流量が出ない

原因	処置方法
1) 金網、または精米ロールに糠が付着している	(a) 金網、または精米ロールを掃除してください。 (21ページ「(1) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください) 
2) 精米ロールが摩耗している	(a) 精米ロールを交換してください。 (21ページ「(1) 金網・精米ロールの掃除・交換」を参照してください) 
3) 原料ホッパ下部または流量調整部に異物（紙、ひも、ワラ屑など）が引っ掛かっている	(a) 異物を取り除いてください。 異物（紙、ひも、ワラ屑など） 原料ホッパ 
4) 流れにくい原料を精米している	(a) 点検カバー（右）を開けて「流量調整ツマミ」を緩め、「流量調整シャッタ」を右へ1目盛動かして流量を多くし、精米してください。  (図は CBS1500B の場合を示す)

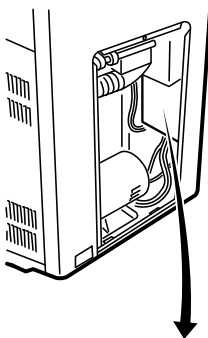
(8) 糠切れが悪い

原 因	処 置 方 法
1) バッグ（糠袋）が糠で一杯になっている	(a) バッグ（糠袋）の糠を取り除いてください。 取扱注意 ● 溜まった糠は早めに取り除いてください。 (25ページ「(4) バッグ（糠袋）の取り出し方」を参照してください) バッグ（糠袋）の容量は、玄米で 60kg、粳で 20kg 分です。
2) 金網が目詰まりしている	(a) ブラシなどで掃除してください。 (25ページ「(4) バッグ（糠袋）の取り出し方」を参照してください) 
3) 流量が多すぎる	(a) 点検力バー（右）を開けて「流量調整ツマミ」を緩め、「流量調整シャッタ」を左へ1目盛動かして流量を少なくし、精米してください。（9ページ「図 6、図 7 機械の操作箇所」を参照してください）  （図は CBS1500B の場合を示す）

(9) 碎米が多い

原 因	処 置 方 法
1) 負荷のかけすぎ、または玄米の胴割・未熟米が多い	(a) 「白さ調整ダイヤル」を左へ回して白さを下げてください。 (b) 白さが足りないようであれば2回搗きを行ってください。

(10) 精米中自動停止する

原因	処置方法
1) ぶ搗きや再精米している または流量が少ない	(a) 玄米・粳の流量を増やして精米してください。 (36ページ「(7) 流量が出ない」を参照してください) (b) コントロールユニットの「自動停止切替スイッチ」を「ぶ搗き、再精米用」または「連続運転用」に切り替えて精米してください。(20ページ「7. 自動停止機能の切り替えについて」を参照してください) 取扱注意 ● 「自動停止切替スイッチ」の設定が「ぶ搗き、再精米用」になっていても自動停止する場合は、モータ負荷電流値の低いことが考えられます。 モータ負荷を上げるため、[流量調整シャッタ]を今より更に右へ少しずつ（この場合 4～5 目盛以上）動かして流量を多くし、自動停止しなくなる流量で運転してください。(8ページ「表示部・操作部のなまえとはたらき」を参照してください)  自動停止 切替スイッチ

困ったとき

(11) 精米終了時自動停止しない

原因	処置方法
1) 元電源の電圧にバラつきがある	(a) お買い上げの販売店・JAにご相談ください。

消耗部品

1. 消耗部品

消耗部品のリストと耐久時間について示します。

消耗部品は、表 1 を目安に事前に準備されることをお勧めします。

表 1 消耗部品一覧表

1 俵：玄米 60kg

品 名		部品コード	規格	型 式	耐久処理量 又は耐久時間
精米ロール		180820300		750A(3)	100 俵
		180840300		1500B(1)・2200B(1)	200 俵
金 網		180820350		750A(3)	100 俵
		180840350		1500B(1)・2200B(1)	200 俵
抵抗板一式		9180820740		750A(3)	100 俵
		9180840740		1500B(1)・2200B(1)	100 俵
V ベルト	50Hz	FD12SB60	LB60	750A(3)	150 時間
		FD12SB59	LB59	1500B(1)	150 時間
		FD12SB58	LB58	2200B(1)	150 時間
	60Hz	FD12SB58	LB58	750A(3)・1500B(1)	150 時間
		FD12SB57	LB57	2200B(1)	150 時間
ホース		180840230		750A(3)・1500B(1)・2200B(1)	200 俵
糠 袋		180840280		750A(3)・1500B(1)・2200B(1)	50 俵

※ 「表 1 消耗部品一覧表」の耐久時間は、地域、粳の品種・水分、使用条件等により異なる場合があります。

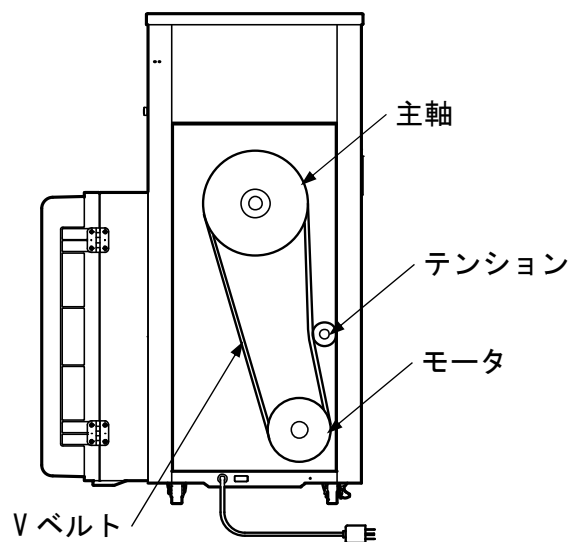
表 2 消耗部品（精米ロール、金網）の耐久年数の目安

CBS750A (3)		CBS1500B (1)		CBS2200B (1)	
年間使用量	相当耐久年数	年間使用量	相当耐久年数	年間使用量	相当耐久年数
20 俵 (1200kg)	5	40 俵 (2400kg)	5	60 俵 (3600kg)	3.5
15 俵 (900kg)	6.5	30 俵 (1800kg)	6.5	45 俵 (2700kg)	4.5
10 俵 (600kg)	10	20 俵 (1200kg)	10	30 俵 (1800kg)	6.5

※ 年間の使用量をもとに耐久年数を表示しています。

※ 交換の際の目安にしてください。

2. V ベルトの掛け方



後 面

仕様

表 3 仕様一覧表

項目 \ 機種		精米機		
型 式		CBS750	CBS1500	CBS2200
区 分		A (3)	B (1)	B (1)
原 料		粳・玄米（短粒種）		
処理能力 (kg/h)	玄米	50～60	100～120	160～180
	粳	30～40	60～80	100～120
所要動力	定格電圧 (V)	三相 200V		
	使用動力 (kW)	1. 02	1. 37	2. 27
主軸回転数 (r/min)	50Hz	900		
	60Hz	900		
タンク容量 (kg)	玄米	30		
	粳	20		
安 全 装 置		過負荷自動停止・無負荷運転自動停止（マイコン制御）		
機体寸法	全長 (mm)	670		
	全幅 (mm)	660		
	全高 (mm)	1010		
機 体 質 量 (kg)		75	84	89
使用環境温度 (℃)		5～30		

- ※ 性能は、地域、粳の品種・水分、使用条件等により表示範囲内で変動します。
- ※ 記載している原料以外で特殊な原料を使用される場合は、巻末の「緊急時の連絡先」を参照して、事前にご相談ください。
- ※ 環境温度が 5℃以下になると白さが足りなくなったり、排出口付近に糠が付着しやすくなったりする場合があります。また、30℃以上になると白米温度が高くなったり、碎米が増えたりする場合があります。
- ※ 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

寸法図

単位：mm

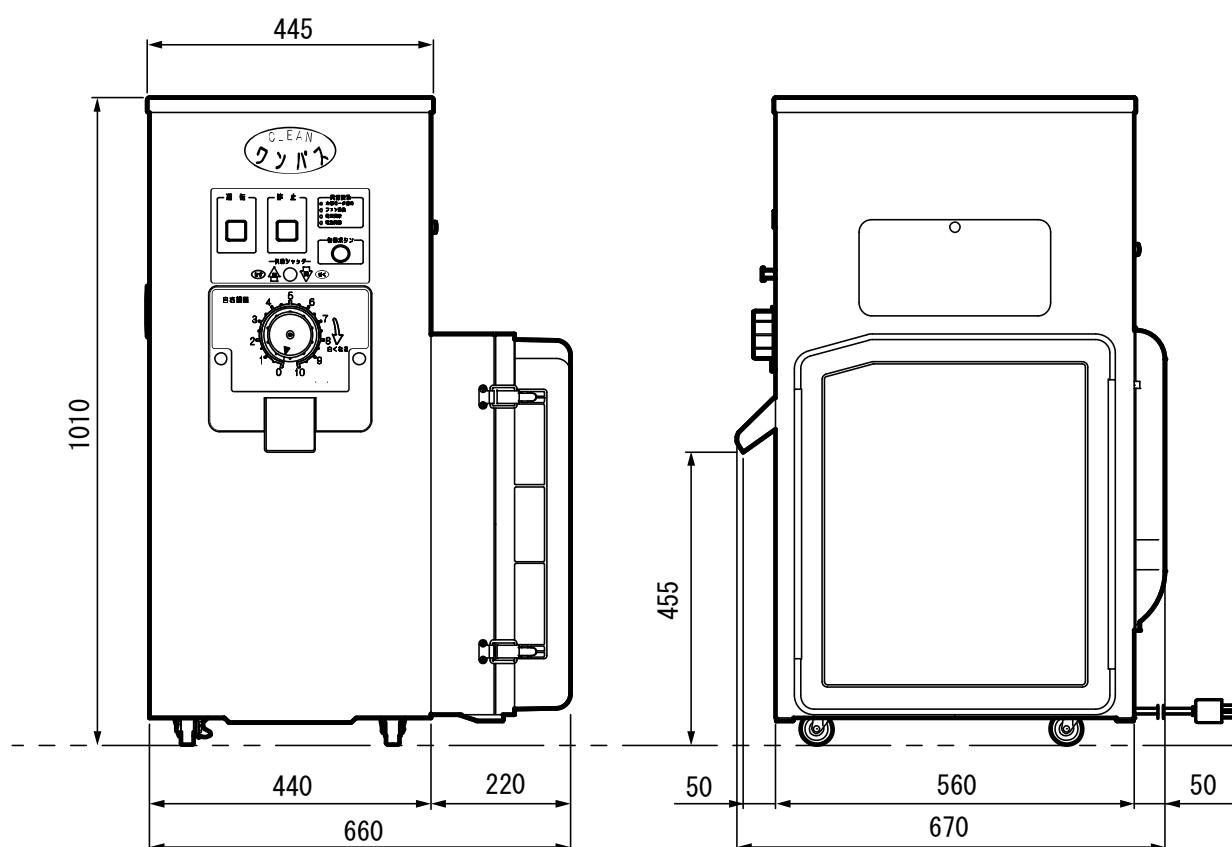


図 8 機体寸法

保証とアフターサービス

取り扱い・修理などのご相談は、お買い上げの販売店またはＪＡまでお申し付けください。

■保証書（別添付）

- 保証書は必ず、「納入日、販売店名・ＪＡ」などの記入をお確かめの上、販売店またはＪＡからお受け取りください。
- 内容をよく確かめたあと、大切に保管してください。

保証期間は、納入日から１年間です。

■補修用部品の供給年限

- この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年とします。
ただし、供給年限内にあっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合があります。
- 補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給の要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■修理を依頼される時には

- 「困ったときの対処のしかた」（28～38ページ）に従っても直らない場合は、お買い上げの販売店またはＪＡにご連絡ください。

〔保証期間中は〕

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定に従って修理させていただきます。

〔保証期間が過ぎているときは〕

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

〔修理料金は〕

- 修理料金＋部品代で構成しています。

緊急時の連絡先

機械が異常な作動をし、原因が不明で適切な処置が行えない場合、または運転操作方法等に不明な点がある場合は、以下の窓口へご連絡ください。

〔１〕販売店・ＪＡ（購入時にお客様にてご記入ください）

店名：
緊急時の連絡先：
担当者：

〔２〕最寄りの営業所

●販売店・ＪＡに連絡が見つからない場合は、最寄りの営業所へご連絡ください。

営業所／所在地	TEL（代表）	FAX	〒
北海道営業所／札幌市白石区菊水上町 3 条 2 丁目 52-254	011 (812) 3666	011 (820) 2007	003-0813
北上営業所／岩手県北上市川岸 1 丁目 16-1（東北佐竹製作所内）	0197 (64) 0111	0197 (61) 0001	024-0032
秋田営業所／秋田市仁井田字中谷地 121-2	018 (839) 0891	018 (889) 6001	010-1423
仙台営業所／宮城県仙台市若林区六丁の目南町 2-20	022 (287) 2733	022 (390) 1017	984-0013
小山営業所／栃木県小山市駅南町 4 丁目 31	0285 (27) 5060	0285 (31) 1002	323-0822
柏営業所／千葉県柏市大室 1153	04 (7132) 1181	04 (7140) 8018	277-0813
新潟営業所／新潟市中央区長潟 3 丁目 8-16	025 (287) 0177	025 (257) 1103	950-0932
名古屋営業所／愛知県一宮市赤見 3 丁目 10-6	0586 (73) 2177	0586 (26) 1040	491-0023
北陸営業所／石川県白山市源兵島町 793-1	076 (277) 2085	076 (277) 8010	924-0052
大阪営業所／大阪府豊中市稲津町 2 丁目 5-1	06 (6867) 6015	06 (6867) 6073	561-0854
広島営業所／広島県東広島市西条西本町 25-29 アソカビル 3F	082 (420) 8575	082 (420) 0010	739-0043
松山営業所／愛媛県伊予市市場 485-1	089 (982) 6990	089 (997) 3231	799-3122
福岡営業所／福岡県太宰府市国分 1 丁目 7-1	092 (921) 6111	092 (920) 1030	818-0132
熊本営業所／熊本市東区西原 3 丁目 3-29	096 (382) 2727	096 (386) 2007	861-8029

〔３〕製造元 株式会社 **サマケ**

広島本社／広島県東広島市西条西本町 2-30 〒739-8602

●最寄りの営業所に連絡が見つからない場合は、以下の窓口へご連絡ください。

■お客様サポートセンター	TEL : 082 (420) 8543	FAX : 082 (420) 0009
■本社営業窓口 [調製機事業本部]	TEL : 082 (420) 8541	FAX : 082 (420) 0005
■大代表	TEL : 082 (420) 0001	

株式会社 **サタケ**

サタケのホームページ
<https://satake-japan.co.jp/>

□広島本社／〒739-8602 広島県東広島市西条西本町 2-30 TEL 082(420)0001 (大代表)
□東京本社／〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-7-2 TEL 03(3253)3111 (代表)
□営業拠点／北海道、北上、秋田、仙台、小山、東京、柏、新潟、名古屋、北陸、大阪、
広島、松山、九州、福岡、熊本
□サタケグループ／
株式会社サタケ、株式会社東北佐竹製作所、サタケ豊栄株式会社、佐竹電機株式会社、
SATAKE USA INC.、SATAKE AMERICA LATINA LTDA.、SATAKE EUROPE LTD.、
SATAKE AUSTRALIA PTY. LTD.、SATAKE (THAILAND) CO., LTD.、
SATAKE ASIA CO.,LTD.、SATAKE INDIA ENGINEERING PVT.LTD.、
佐竹機械（蘇州）有限公司、佐竹軟件技術（蘇州）有限公司

Copyright (C) 2021 Satake Corporation. All rights reserved.

I1CBS150BAAA-X2104X-D